

—地域社会に輪を拡げる—

来友会創立 50 年の歩み



社会福祉法人 来友会

軽費老人ホーム	来友館
小規模多機能ホーム	くすのき
ヘルパーステーション	らいゆう
ケアプランセンター	らいゆう
サービス付き高齢者向け住宅	陽だまり
社会貢献宿泊所	くすのき

—地域社会に輪を拡げる—

来友会創立 50 年の歩み



撮影：理事長 西座新二

才一号

敬老の目もかえりみて

らいゆう

社会福祉法人

軽費老人ホーム

来友館

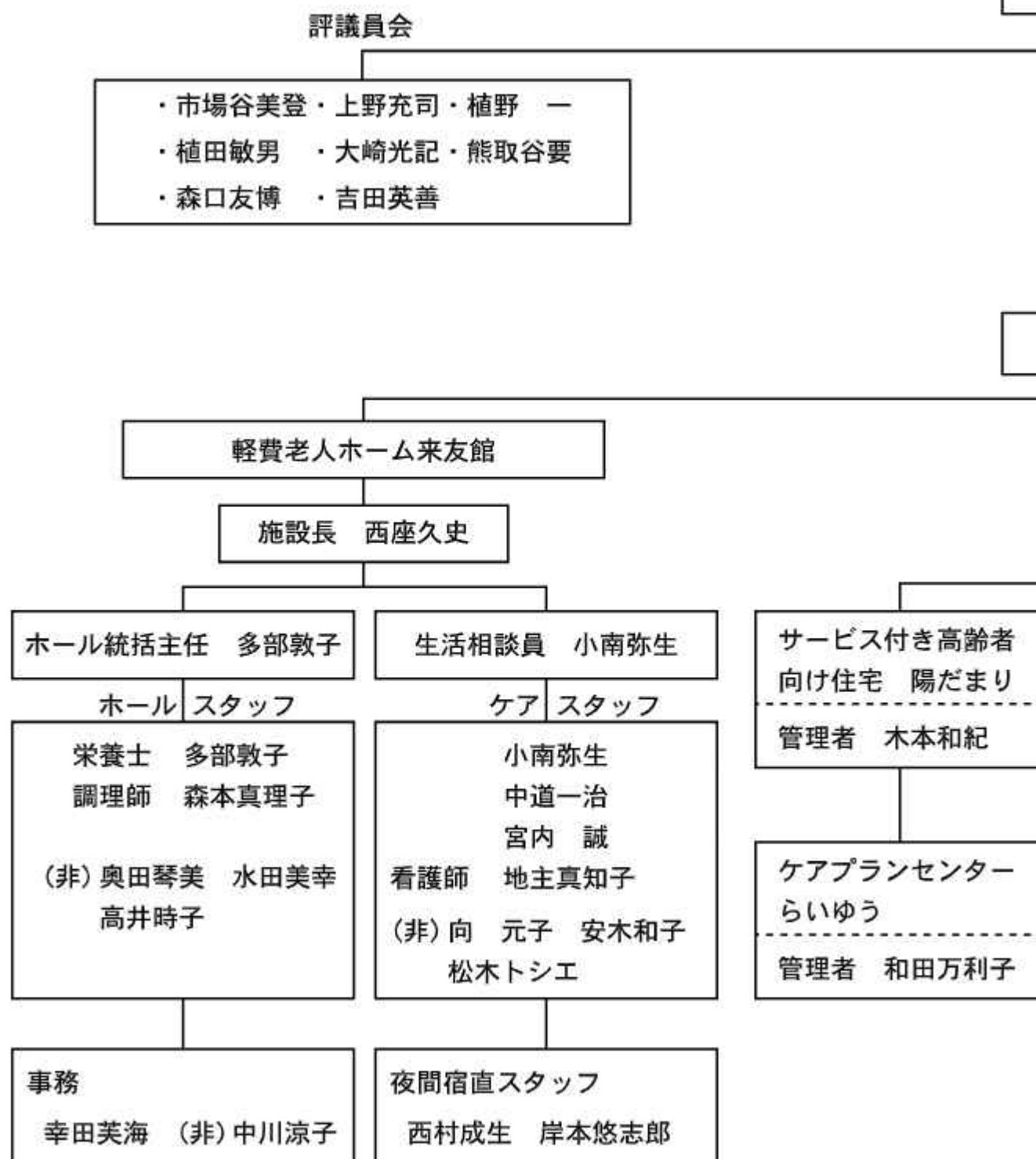
昭和四十九年十月発行

もくじ

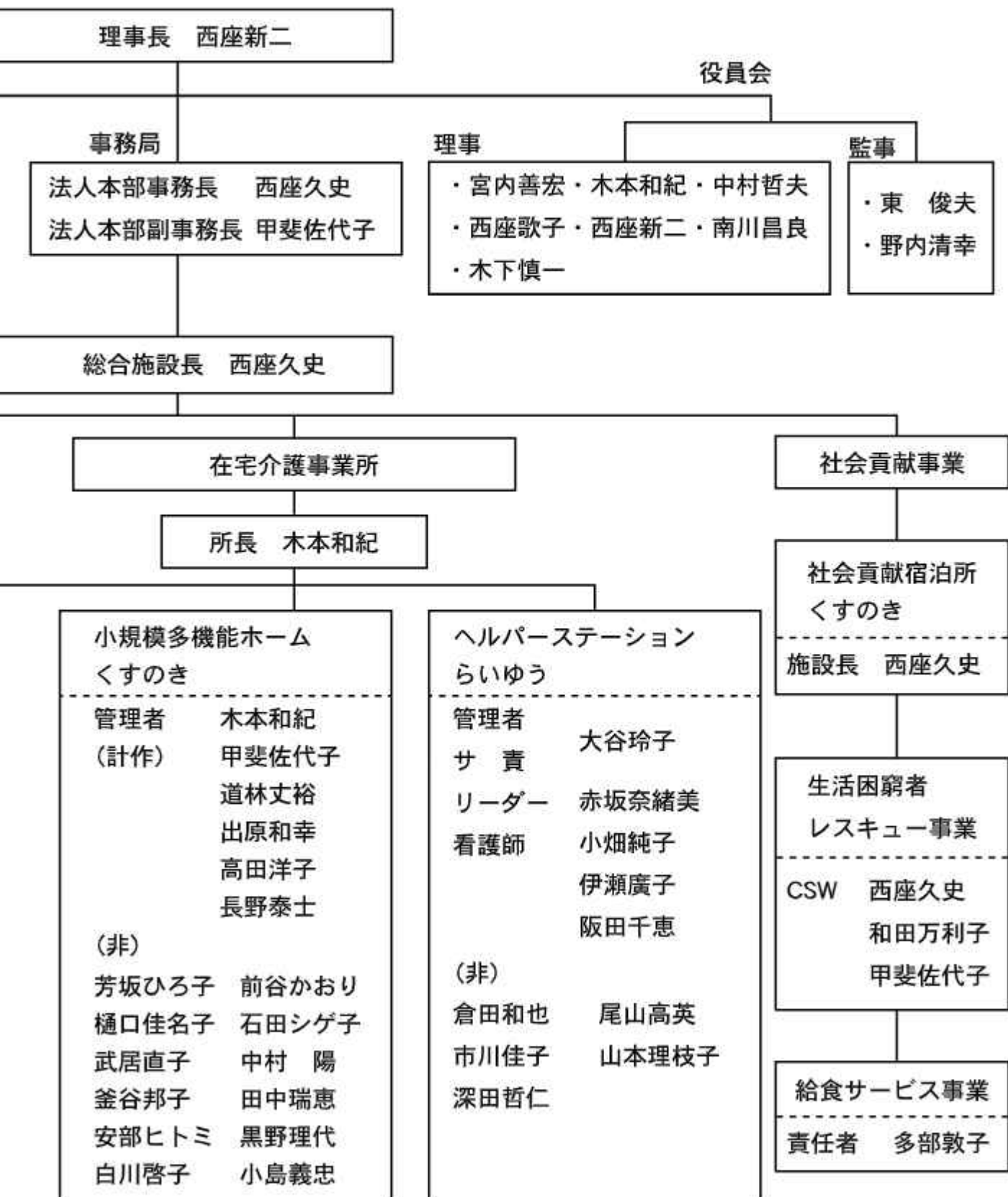
社会福祉法人来友会組織図	4
社会法人とは	6
法人理念・基本方針	7
法人開設 50 周年を迎えて 理事長 西座 新二	8
創立 50 周年を祝して 泉佐野市長 千代松 大耕	9
来友会 50 年のあゆみを祝して	10
一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄	
祝いの言葉	11
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 局長 森垣 学	
50 周年を迎えた来友館様に	12
元泉佐野市市議会議員 来友会理事 中村 哲夫	
お祝いの言葉	13
堺市西区市議会議員 社会福祉法人あすなろ会 理事長 来友会評議員 上野 充可	
至誠の法人	14
社会福祉法人みささぎ会 相談役 来友会元評議員 奥田 益弘	
お祝いの言葉	15
社会福祉法人幸福荘 施設長 来友会監事 野内清幸	
50 周年を迎えるにあたって 社会福祉法人来友会の総合施設長として	16
社会福祉法人来友会 総合施設長 西座 久史	
法人設立 50 周年に思う 職員 木本 和紀 職員 大谷 玲子	18
職員 甲斐 佐代子 職員 和田 万利子	19
元職員 鈴木 和子	20
お祝いの言葉 利用者家族様 桑江 孝幸 様	21
淵田 智 様 小早川 操 様	22
51 年目に向けて！ 新たに始動する来友会スタッフ紹介	24
軽費老人ホーム来友館	24
小規模多機能ホームくすのき	26
サービス付き高齢者向け住宅 陽だまり	28

創設当時から現在までを振り返って	理事長 西座 新二	30
10年間の出来事		32
入居者の皆様に聞いてみた！	淵田 清様、山出谷 雅子様、佐野 紀代子様	54
	石橋 久慈様、佐竹 一恵様	55
50才になった時の私	多部 敦子、中道 一治	56
	赤坂 奈緒美、伊瀬 廣子	57
来友館館歌（来たれや友よ）		58
私の50年の車遍歴	理事長 西座 新二	59
クラブ活動 各種		65
カラオケクラブ、シルバーストレッチクラブ		65
サブカラオケクラブ、脳トレクラブ		66
ぬりえクラブ		67
社会福祉法人来友会 概要		68
軽費老人ホーム来友館 概要		70
小規模多機能ホームくすのき 概要		72
サービス付き高齢者住宅 陽だまり 概要		74
社会貢献宿泊所くすのき 概要		76
ケアプランセンターらいゆう 概要		77
ヘルパーステーションらいゆう 概要		77
大阪しあわせネットワークについて		78
来友館周辺地図		80
編集後記		82

社会福祉法人来友会 組織図



2023 年 10 月 1 日付



社会福祉法人とは

社会福祉法人とは、社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の定めるところにより設立された社会福祉法第22条で定義される公益性の高い、非営利法人であり、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ公正に行っています。法人税上では事業の性格から、法人所得税・法人地方住民税・事業税・消費税・固定資産税は原則非課税です。

しかしながら非課税に対する厳しい見解があり、平成29年4月1日に社会福祉法の法改正が行われました。この法改正では、社会福祉法人の「公益性・非営利性の徹底」、「国民に対する説明責任の履行」及び「地域社会への貢献」という視点が掲げられ、それらに対応するように、「経営組織のガバナンスの確保」、「運営の透明性の確保」及び「財務規律の強化」が図られることになりました。

この中で「地域社会への貢献」は最重要視され、社会福祉法第24条第2項に全ての社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」の実施が明記され、法人は制度にとどまらない福祉サービスの担い手として、事業所や施設の福祉サービスの利用者だけでなく、地域に暮らす人々を支えるため、地域のニーズにこたえる取り組みを実践し、そこから新たな福祉サービスをつくり出すことが求められるようになりました。

「地域における公益的な取組」例としましては高齢者の住まい探しの支援・障がい者の継続的な就労の場の創出・子育て交流広場の設置・生活困窮者の自立支援・ふれあい食堂の開設等があります。また、この取り組みに関しては毎年度厚生労働省に提出する現況報告書にも取り組み内容を記載することが義務付けられています。

当法人でも、「生活困窮者に対する支援相談事業の経営」、「生活困難者に対して無料又は低額な料金で、宿泊所その他の施設を利用させる事業の経営」と定款に掲げ、主に生活困窮者レスキュー事業と社会貢献宿泊所の経営を行い地域社会に貢献いたしております。

社会福祉法人 来友会

法人理念

総ては利用者の安心と信頼を得るために

1. 利用者の意向を尊重し、明るく楽しい生活空間を創造する。
2. 利用者の尊厳を保持しつつ、自立した生活を営む事が出来るよう支援を行う。
3. 地域との交流をはかり、福祉サービスの提供を通じて地域福祉の向上に貢献する。
4. 法人の総ての職員が気持ち良く働くことの出来る魅力ある職場環境の構築を目指す。

基本方針 軽費老人ホーム 来友館

1. 利用者が心身共に健やかに、自立した日常生活を過ごせるように支援いたします。
2. 良質で効率的なサービスの提供を目指し、普段の研鑽を以て職員の質の向上をはかります。
3. 利用者総ての人権を擁護するため、職員一人一人が常に自己点検を行ない、公平公正な施設運営を実現させます。
4. 職員間の情報の共有によって、利用者の安全と信頼が得られる魅力ある施設づくりに努めます。
5. 個人情報保護法をはじめ法令の遵守を徹底します。

基本方針 在宅介護事業所 らいゆう

1. 利用者第一の姿勢に徹し、真心と感謝の念をもって介護サービスを提供します。
2. より良き利用者の生活提案者を目指し、地域社会の模範となる介護事業者を目指します。
3. 利用者及び家族との相互信頼を築き共存共栄をはかります。
4. 利用者総ての人権を擁護するため、職員一人一人が常に自己点検を行ない、公平公正な事業所運営を実現させます。
5. 個人情報保護法をはじめ法令の遵守を徹底します。

基本方針 小規模多機能ホーム くすのき

1. その人らしい**く**らしを応援します。
2. 気づいたら**す**ぐに行動します。
3. **の**ぞみに合わせて笑顔で対応します。
4. 施設を**き**れいに保ちます。
5. 個人情報保護法をはじめ法令の厳守を徹底します。

法人開設 50 周年を迎えて



理事長 西座 新二

社会福祉法人来友会は今年 50 周年を迎えました。古人曰く「光陰矢の如し」と、今しみじみこの言葉の意味を理解し噛み締めております。現在私は後期高齢者の仲間ですが、来友会の開設発起人に発起人の一人として出席した時は、二十五歳の若輩者でした。当時の理事さんも、ご健勝な方は現在も当法人筆頭評議員の「植野一先生」の二人だけとなってしまいました。この 40～50 周年の間に企業ならばもっと大きく成長しなければなりません。経過型軽費老人ホーム来友館が主体の経営基盤が脆弱な小さな社会福祉法人では、事業の拡大は容易ではありません。私は来友会・来友館が開設 17 年の 1 法人 1 施設で運営している時代に入職しました。この年 1992 年（平成二年）は介護保険制度が発足する丁度十年まえで、国は「制度あってサービスなし」を避けるため、この十年間をゴールドプラン十年と名付け、民間事業者も算入させて施設整備を急速に進めました。核となる特別養護老人ホーム「今の介護老人福祉施設」の整備を急速に推進いたしました。来友会にも大阪府の高齢介護室施設整備課の担当者から、「来友会さんも特別養護老人ホーム作りませんか、今なら市町村の同意もいらなし、建設予算も建築費四分の三までは青天井で補助金交付が受けられますよ。」と親身になって進めてくれました。残念ながら前理事長は「私が理事長でいる限り、特別養護老人ホームは作らせない。」と何を根拠か分かりませんが申請させてくれませんでした。他の法人が定員百人規模の大型特養を整備してどんどん大きな規模に成長してゆくのを見ながら。いつまでも来友会・来友館が 1 法人 1 施設で、このまたと無いチャンスを見逃してゆくのを歯がゆい思いで見えておりました。平成十五年秋に父が他界し、私が理事長に交代して来友館を取り巻く借家の住人と立ち退き交渉をしました。父が戦後の財産税の支払いの為に売却した裏の元借家を買戻し、空き家になった借家と西座家の本宅を解体、築山や池のあった庭を平地にしました。これでやっと平成二十三年に小規模多機能型居宅介護事業所「くすのき」、地域交流サロン「ひだまり」の開設に漕ぎ着けました。ここまで仕上げるのに七年間かかりました。この 40～50 周年の間に新設した施設はサービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」だけでした。この施設は介護保険事業ではなく厚生労働省と国土交通省の共管事業です。福祉政策ではなく高齢者の賃貸住宅で安否確認と相談機能があれば申請できます。承認されれば建築費の 10 パーセントが補助されるという施設です。来友会では「陽だまり」にケアプランセンターを併設し、介護支援専門員を配置しています。また、ヘルパーステーション「らいゆう」に業務委託して、二十四時間職員を配置して安否確認を実施いたしております。また、小規模多機能型居宅介護事業所「くすのき」の二階には認知症対応型共同生活介護、通称認知症グループホームを予定しておりましたが、泉佐野市介護保険課の同意を得られず空となっている 9 室の内、5 室を社会貢献宿泊所「くすのき」として無料または低額で大阪府内で困窮されておられる方にご利用いただいております。

今後、社会福祉法人を取り巻く事業環境は厳しさを増して行くものと思われます。役職員一同新たな希望をもって、これからの十年を乗り越えたく存じます。皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

創立50周年を祝して



泉佐野市長 千代松 大耕

社会福祉法人来友会の創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

歴史風情の残る地域である春日町で、昭和48年に「軽費老人ホーム来友館」を開設されて以来、「総べては利用者の安心と信頼を得るために」という法人理念のもと、介護保険サービス事業にも積極的に取り組まれ、50年という長きにわたり、地域の高齢者福祉の充実及び向上に多大なご貢献をいただいております。

また、平成23年には小規模多機能型居宅介護事業所「小規模多機能ホームくすのき」、平成26年には「サービス付き高齢者向け住宅 陽だまり」を開設され、「ケアプランセンターらいゆう」、「ヘルパーステーションらいゆう」も運営されることで、多様な利用者のニーズに応じたサービスの提供に加え、高齢者が住み慣れた家や地域で安心して暮らせるよう、高齢者福祉事業に取り組んでいただいておりますことに心から感謝申し上げますとともに、「憩いの施設」として地域との交流を図っていただいております西座理事長をはじめ職員の皆様に、深く敬意を表する次第であります。

さて、わが国の高齢化は今後も進展すると見込まれ、令和18年には国民の3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測されております。本市においても、高齢者人口が2万6千人を超え、令和4年度末時点で高齢化率は26.5%に達しており、介護・福祉サービスに対する需要は、今後もますます増加することが予想されます。

このような状況の中、現在、本市におきましては、「第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定を進めており、高齢者が住み慣れた地域で健康で幸せに、自分らしい生活を安全で安心して最後まで過ごせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援サービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の更なる推進に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、高齢者への介護予防や健康づくり、また、社会参加を促し、地域社会で支え合いながら安心して暮らしていけるように、高齢者福祉を推進してまいり所存でありますので、貴法人がこれまで培ってこられた大変心強いノウハウを生かし、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人来友会の益々のご発展と、職員並びに関係者の皆様のご健勝と更なるご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

来友会 50 年のあゆみを祝して



一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄

社会福祉法人来友会創立 50 周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。大阪のホテルルーテルに有志が集い全軽協は 40 年前に発足しました。その発起人の 1 人が来友会創設者である西座正蔵前理事長で本会発足と同時に事務局長に就任されました。

当時、20 代半ばの若輩の私は西座正蔵先生はじめ、田尻知己初代会長、泉亮 2 代会長、山中拓治 3 代会長らの薫陶を賜りました。時は流れ不肖川西が 4 代目会長拝命の折り、来友会理事長である西座新二先生が総務委員長・副会長に就任頂き、多大なる尽力と貢献を賜りました。西座久史施設長は本会の専門委員として現在活躍中で来友会創業家三代に渡って全軽協の要職を務めて頂いており、この機会をお借りして長く深いご縁に深甚なる感謝と敬意を申し上げます。さて、コロナ禍は 4 年目に入り、5 月 8 日には 2 類から 5 類へと引き下げられ、インフルエンザ同等の取扱いになる事が決まっていますが、まだまだ予断を許さない状況にあります。また、国際情勢の悪化、為替等の影響で物価高騰も本当に厳しく社会福祉法人・施設の財政状況も非常に厳しい状況にあります。朗報と言えば、令和 4 年度から軽費老人ホーム職員の処遇改善が実現したことで、これは大きな公明であると感じており、我々の活動と軽費老人ホーム職員の働きが改めて国・地方自治体から評価され、認められたと喜んでおります。ところで日経 BP によりますと 100 年長寿企業国際比較で日本は 3 万 7 千余企業で世界ランキングトップとなっており、2 位米国、3 位ドイツ、4 位英国、5 位イタリアと云う順序です。売上規模では、1 億未満が 41.7%で、1～10 億が 39.1%で 80.8%と 8 割以上が 10 億未満の比較的小規模な企業となっています。100 年企業の特徴は①業界・顧客とともに地域にも貢献している。②常識にとらわれず革新的なことに挑戦している。③従業員を大切にしているの 3 点です。来友会に於かれましては半世紀の長きに渡り、地域を支え・地域から愛されてきたことと確信します。これからの 60 年・70 年とあゆみを続け、100 年法人として地域共生社会の中核法人・施設として、ますます発展されますことを心より祈念申し上げまして、私からの 50 周年の祝辞とさせていただきます。

祝いのことば



社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 局長 森垣 学

このたび社会福祉法人 来友会 が創立50周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。また、記念誌への寄稿の機会をいただきましたこと感謝申し上げます。

さて、私と来友会さんとは、最初の配属先となった施設福祉課（当時）からがはじまりで、複式簿記の帳票類を勤務終わりに届けたりしたことを思い出します。また、その後、老人施設部会を担当した時には入居者の手作り作品「わてが作りまし展」を近鉄百貨店の催事場で敬老の日を含む数日間実施していた時、出展とともに入居者さんがいつも見学に来てくれていたことも懐かしい思い出です。

その後、国の社会福祉基礎構造改革（平成12年）により、高齢者福祉は措置から契約、多様な事業主体の参入が可能になるなど「新たな福祉」へと転換することとなり、この流れは平成28（2015）年の社会福祉法人改革へと繋がり、社会福祉法人には「地域における公益的な取組み」が役割として位置づけされました。

そのような動きの中、西座理事長は、本会老人施設部会軽費分科会長として軽費・ケアハウスの充実発展に尽力されるとともに、さらに部会の場において社会福祉法人の公益的な取組の先取りとなる「制度の狭間」の生活課題を支援する「社会貢献事業」の実現に向け奮闘いただきました。その後、この事業は、平成27（2015）年度に、府内全ての社会福祉法人による「大阪しあわせネットワーク」事業へと発展し全国の先駆けとなりました。

これからは、この形を市町村域での施設種別を横断した連携・協働型の福祉として進めることが必要と考えています。

社会福祉法人 来友会におかれましては、高齢者にとって安心安全な住まいを提供する軽費老人ホームをはじめ地域の高齢者施設として今後もますます期待が高まることと思います。

50年の足跡を振り返りながら、法人理念に掲げられた『総ては利用者の安心と信頼を得るために』を大事にされ、地域のかげがえのない生活支援施設として、地域の人々に愛され、地域の人々と共に次の10年へ向けた新たな歩みにより一層発展されますことをお祈りしましてお祝いの言葉といたします。

50 周年を迎えた来友館様に



元泉佐野市市議会議員 来友会理事 中村 哲夫

社会福祉法人来友会創立 50 周年誠におめでとうございます。

心から御祝い申し上げます。前理事長西座正蔵様が設立されました、軽費老人ホーム来友館も 50 年の星霜を迎えました、その期間地域の多くのかたが理事長はじめ職員さんのやさしさと心のこもった接遇を受け楽しくお過ごしだったと思います。そして今では来友会では他にも小規模多機能ホーム「くすのき」ヘルパーステーション「らいゆう」ケアプランセンター「らいゆう」サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」社会貢献宿泊所「くすのき」等の 5 施設も運営されて泉佐野市の福祉の増進に大きく貢献されております。泉佐野市の市会議員時代に私が提案して千代松市長が決断された現在来友館の前の道路の拡幅工事が進んでおります。未だ全面開通まで 5 年近くかかると思いますが前の道路が幅 16 メートルに拡幅されりんくう迄延長されます。不便だった由緒ある旧市内の道路状況が一変されます。

来友館の益々の発展にも貢献出来ると思います。地域福祉にも役立つ事だと思います。

地域福祉に尽力される現理事長のリーダーシップのもと施設長始め職員皆さまのまじめな努力と熱意で益々地域福祉に貢献して頂く事を確信して来友館創立 50 周年の祝辞とさせていただきます。

お祝いの言葉



堺市西区市議会議員
社会福祉法人あすなろ会 理事長

来友会評議員 上野 充司

50周年おめでとございます。創立されたころ世の中は、高度経済成長期から成熟期へ移り、高齢化社会へ足を踏み入れ、今後の高齢者施策の議論がされ始めた頃で、先見の明を持って社会的意義の深い事業に高い志で取り組まれたことと推測致します。創業の荒波を乗り越えれば安定的で社会的にも高評価とされる事業運営が想像されていたかも知れませんが、その後、措置から契約へと移行、介護保険制度の導入、社会保障費の増大を背景とした給付費の削減、事業者間競争の激化、他業種と比較しても抜きん出た人材不足とたいへん厳しい経営環境に置かれ、一方では社会福祉への要求は複雑化、多様化を深めている状況にあります。私は、西座久史総合施設長とは高校の部活の先輩後輩の関係にあり、同様に社会福祉法人を継いでいる関係から事業運営の相談や悩み事を共有し、おそらく想像も超えているのであろう創業のたいへんさに感謝と敬意を持ちながら守成の難しさを受け止めており、また、学生時代からの時間を越えて人間関係がつながることをうれしく思っております。本法人におきましては、近年でも生活困難者に対する支援事業も手掛け、利益を生み出すわけで無くとも格差拡大が顕著となってきた現代社会が今まで以上に必要としている事業を展開し、創業時の志を守りながら社会福祉法人の本来的な存在意義を遂行することに共感を覚えます。また、施設のほうに行かしていただきまして、もやさしく思いやりのある職員が揃われていることを感じ、人と人が直接接する介護事業におきましてはそういった人材は利用者への接遇のみならず共に働く同僚との関係においても宝といえるものであり、創業者から受け継がれた思いや現理事長の人柄が伝わる本法人最大の強みとして今後も継続していただきたいと思っています。そして、このような取り組みが雇用の創出や疲弊する地域コミュニティー維持等に寄与し、地域社会の中でも必要とされる施設であり続けることを期待致します。

結びに、これまで本法人の運営に心血を注がれてこられた皆様への感謝を申し上げます。今後も携わられる全ての方が健康で幸せであることを祈念致します。

至誠の法人



社会福祉法人みささぎ会 相談役 来友会元評議員 奥田 益弘

この度、社会福祉法人来友会が創立 50 周年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。
貴会におかれましては、半世紀という長きに渡り、高齢者福祉をはじめ暮らしを支援する様々な事業を展開すると共に、社会貢献にも熱心に取り組まれてこられましたことに、心から敬意を表します。

大阪府社会福祉協議会老人施設部会と各社会福祉法人との共働事業として、2004 年度から取り組んでいる「生活困窮者レスキュー事業」は、同部会加入の法人が、法人所属のコミュニティソーシャルワーカーと府社協所属の社会貢献支援員の積極的なアウトリーチ活動により、総合的な生活相談や、必要に応じて各法人が拠出した基金からの現物給付による経済的援助を行うものです。

本事業の特徴は、法人がその人的・物的資源を活用するところにあります。窮迫した生活課題を抱えた人に対して行う経済的援助について、その原資が行政からの補助金ではなく、各社会福祉法人が自主的に拠出した財源を用いて必要な支援を行うなど、本来社会福祉法人が取り組む慈善的活動にふさわしい先駆的事业として高く評価されております。

西座理事長は、大阪府社会福祉協議会老人施設部会軽費老人ホーム分科会会長として、上述した「生活困窮者レスキュー事業」の創設・発展にご尽力されたことは、大阪府をはじめ社会福祉関係者等々誰もが知るところです。

今後とも、本事業を始め、無料低額宿泊事業等その時代に合った福祉事業に邁進されます様ご期待申し上げますと共に、貴会の益々の発展をご祈念申し上げます。

お祝いの言葉



社会福祉法人幸福荘 施設長 来友会監事 野内 清幸

社会福祉法人来友会が創立50周年を迎えられたことに心からお慶び申し上げます。

近年の大きく変わる社会情勢の中で、軽費老人ホームに加え訪問介護事業所や小規模多機能施設、地域交流スペース、サービス付き高齢者住宅など複合的に事業を經營され、無料低額宿泊所ではさまざまな事情でお困りの方の受け皿となっているほか、社会貢献事業（大阪しあわせネットワーク）にも積極的に参加し、地域の福祉サービスの拠点として取り組まれていることに心から敬意を表します。

西座新二理事長は大阪府老人施設部会や全国軽費老人ホーム協議会の役員を歴任され、特に軽費分科会では永年に渡り分科会長として活躍され、社会貢献事業の（発足）立ち上げからの取り組み（実行）や（軽費老人ホームの補助金が一般財源となる際に）行政への要望活動や交渉に尽力いただきました。また、西座久史施設長も全国軽費老人ホーム協議会の専門委員として、社会福祉事業の推進にご活躍いただいています。

軽費老人ホームは多様なニーズを抱えた方が入居され、本人の望むことや強みを生かし、ご家族様や医療、関係機関との連携を行う生活支援は、地域包括ケアの推進や地域共生社会の実現するための多様な機能を持っています。

地域福祉の中核的な社会福祉法人として、さらなる飛躍と職員の皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、創立50周年のご祝辞とさせていただきます。

50周年を迎えるにあたって 社会福祉法人来友会の総合施設長として



社会福祉法人来友会 総合施設長 西座 久史

社会福祉法人来友会が50周年を迎えることができました。これもひとえに長年にわたり支えてくださるご利用者様、ご家族様のおかげで事業を続けられております。本当にありがとうございます。また、当会の役員の皆様、従業員にも本当に感謝申し上げます。

50年という長い月日は簡単に語れるものではありません。私が社会福祉法人来友会で働き始めたのが平成20年頃であり、軽費老人ホーム来友館の施設長として拝命いたしましたのが令和元年です。そのため当法人での仕事は来友会50年の歴史のうちのたったの4分の1程度の期間しか経験していないことになります。

もちろん、私が小さい頃は開館記念日にピアノを演奏したこともありますし、12月にはお小遣いつきのお餅つきに参加したり、毎年お正月にはお年玉を祖父母にもらいにきたりもしました。来友館に年に何度も来ていましたので古くから来友館のことは知っております。

当時は「来友館と祖父母の家がくっついている」という今から思い返すと本当に不思議な空間でした。「隣接」ではなく、来友館と旧宅が「完全にくっついており」、旧宅と本宅が細い渡り廊下で繋がっていました。

1階事務室の横の鉄の重い扉を開けると木の階段が2段ほどあり、そこからが祖父母の家になるのです。階段をおりて右手にある廊下を歩くと左手に大きな階段式の神棚がある部屋があり、その奥には仏壇のある部屋が、右手に大きな机と椅子がセットされた応接間がありました。廊下は網戸が閉まっていることも多く、いつも薄暗くヒンヤリしていたように思います。その廊下を通らなければ本宅へは行けません。そのため小さい頃は一人で部屋の廊下を歩きながら「少し怖いな」と思っていたことが記憶にあります。そして本宅へ行く渡り廊下は、幅50センチほどの細い木の板で「ギシギシ」となっていたので「絶対壊れる」と思っていました。渡り廊下の右手には大きな竹林の庭と井戸もありましたし、なんというかいわゆる「心霊スポット」のような雰囲気すら感じました。そのため幼いころの私にとって祖父母の家は「薄気味悪い家」だったのだと思います。庭にも一人で行くこともありませんでした。

当然、本宅にも玄関はありましたが、お昼間に来ることがほとんどで来友館から入って事務所にいる祖父母に挨拶する習慣になっていましたので、基本的には祖父母の家に来友館から入ることがほとんどでした。

そのような祖父母の家がとくっついていた来友館で私が仕事を始めたときは、まだ

来友館のみの1施設しかありませんでした。当時来友館は35年目を迎えていたと思いますが、既に老朽化は始まっておりました。35年も経てば当然のことですが、「どれくらいの年月でどれくらいの老朽化があるのか」という経験が私にはなかったので、「いつまで続けられるのか」も想像できていませんでした。もっとも、理事長でもある父からは「後を考えるなら来友館だけでは厳しいので新しい事業を考えておいた方が良い」と言われていました。そこで、一から介護保険制度や福祉制度についてについて学べることもあり、社会福祉士の資格を取得できる通信の専門学校に通いながら勉強を始めました。その後、平成23年には「小規模多機能ホームくすのき」、平成27年には「サービス付き高齢者向け住宅陽だまり」を開設することになりました。令和元年から来友館の施設長の任務を拝命することになり、全ての事業所を管理する立場として総合施設長という形で仕事をさせていただくことになりました。

改めて福祉・介護の仕事をしていく中でたった15年の中でも福祉・介護制度はめまぐるしく変化しています。50年という月日の中では、当初とは「全く違うもの」に変わっています。この制度の変更のなかで、残念ながら来友館は「建て替えることができない施設」になってしまい、この建物を維持していくほかありません。建て替えると「ケアハウス」という少し形態の異なる施設としての建て替えしか認められません。そしてケアハウスになると現在の入居費用よりもかなり高い金額になってしまいます。そのため少しでも長い期間軽費老人ホーム来友館として続けて行きたいと考えております。

来友館が50年間継続してこれたのは、「これまで働いていただいた職員さんのおかげ」です。50年間の中で数えきれないほどの職員さんが働いてくださいました。そしてなんと54000回以上のお食事を提供してくださいました。この積み重ねのおかげで今の来友館があり、来友会があります。本当にありがとうございます。

これまで「いかに職員さんに長く働いていただけるか」に頭を悩ませてきました。そのためには、「長く働きたい会社」であることが大切です。もちろん諸事情による一定数の入れ替わりは仕方のないことですが、小規模多機能ホームくすのきやサービス付き高齢者向け住宅陽だまりの開設当初は人の入れ替わりが激しく大変な時期もありました。現在では働き方の変化に加えて人口減少、ただでさえ人気のない福祉・介護の仕事ですから人を大切にできない会社は淘汰されていくことになるでしょう。働いていただける職員さん以上に大切な存在はあり得ません。職員さんがいるからこそ、ご利用者が生活していくことができ、そして会社が運営できているのです。再度、50周年を迎えるにあたってこの文章を書きながら、この大切な原則を今一度心に留めて運営していきたいと思ひます。

現在働いていただいている職員さん、また働いていただいた職員さんに感謝申し上げます。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

法人設立 50 周年に思う

在宅介護事業所 所長 理事 木本 和紀

法人設立 50 周年おめでとうございます。私は平成 13 年 4 月、軽費老人ホーム来友館に入職しケアスタッフとして仕事をさせて頂き、現在は在宅介護事業所所長として 23 年目を迎えました。50 周年という節目を迎え来友会に、在籍している事を誇りに思います。



入職当時は軽費老人ホームとヘルパーステーションしかなく建物もバリアフリーになっておらず、認知症などの病気で住み慣れた施設を退所される方を見てきましたが、将来の高齢者介護の方向性を読み取って現理事長と総合施設長のご尽力で小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、社会貢献宿泊所など新事業を始められたため、利用者様に退所の話ではなく、引き続き他のサービスを利用して住み慣れた地域で生活が送れるよう提案できることは、利用者様にとって素晴らしいことで、安心して生活を送っていただけたと思います。これからも安心と信頼をしていただける施設を目指し法人の一人として頑張っていきたいと思います。

ヘルパーステーションらいゆう 管理者 大谷 玲子

社会福祉法人来友会創立 50 周年おめでとうございます。私は来友会に勤め始めて 16 年になります。自分自身では長い間働いているなと思って 50 年の歴史を考えればまだまだほんの一コマに過ぎないんだなと思います。私が勤務し始めたころ驚いたのは来友館の食堂から見える大きな庭でした。鯉が泳いでいる池や、大きな樹木が生い茂っており別の場所に迷い込むような場所に感じ少し怖かった思い出があります。今では小規模多機能ホームくすのきとサービス付き高齢者向け住宅陽だまりが建ち、大きなクスノキが象徴として聳え立っているのが当たり前の後継となり、本当に庭があったのかなとふと思い不思議な感覚になる事があります。私自身来友館の厨房、小規模多機能ホームくすのき、現在のヘルパーステーションなど色々な事業所を経験させていただき、紆余曲折ありながらも現在も継続できているのは、先輩職員や入居者の皆様と良い関わりができているおかげだなと改めて感じています。これからも入居者様の健康と安心した生活を一日でも来友会で過ごしていただけますように願っています。



50年の重みは大きく多くの歴史の積み重ねであると思います。

50年前はまだまだ幼い子供でありましたので、その時代の社会福祉施設はどのような感じであったのかはわかりませんが、きっと想像以上の大変さがあったことと思います。開設当時の写真を拝見いたしますと背筋を伸ばし若々しい写真が多いように感じます。



私が入職した当時も入居者様と一緒に、トマトを育てたり、また書道、踊り、民謡等の多くのクラブがあり積極的に入居者皆様が参加され楽しまれていました。その時に昔のお話や経験、昔ならではの習わしを教えていただき、入居者様とともに過ごしてまいりました時間はとても大切な時間であり経験であると思います。

現在は事務を中心とした仕事を担っていますので、利用者様との直接の関わりが少なくなっていますがその経験を活かせるように、そして超高齢社会と言われるなか、多種多様な介護福祉が求められており、利用者様おひとりおひとりがその人らしく過ごしていただけるよう施設内外の関係者の皆様と方向性や協力体制を整えることで利用者様が安心して過ごしていただければと願っております。

最後になりましたが、50年という節目の年に皆様と一緒に迎えられたことに感謝し、今後も皆様の笑顔が得られますように努力してまいりたいと思います。

ケアプランセンターらいゆう 管理者 和田 万利子

10数年前、来友館でケアスタッフとして採用された当時は、階段壁面に歴代ご入居者達参加の催し記念写真が沢山掲示されていました。仕事の合間に幾度となく眺めては、時々の風貌からその当時を垣間見ることができ、先輩たちからは数々の思い出話を沢山聴くこともできました。周りの環境も今とは大きく違い食堂からは中庭が見え、四季折々を感じながら美味しく食事を頂きました。本宅の裏には大きな柿の木があり、秋になればはしごを使い本宅の屋根に登り、渋柿を沢山収穫したものです。それをご入居者達と一緒に皮を剥き干し柿にして、皆さんに召し上がって頂きました。ミニ菜園ではトマトやじゃがいもの植え付けも一緒に行い収穫を楽しみにしたものです。当時を振り返り、ご入居者達とのどかな時間を共に過ごせたことを大切な思い出として記憶しています。それから現在に至り、周りの環境も少しずつ形を変えて成長していくのを頼もしく感じています。



開設50周年を迎える記念すべき良き日を、皆様と共に過ごせる事に大変感謝致します。50年の歳月には及びませんが、これからも共に過ごせた時間を大切に「心和む場所」として末永く皆さまが健康で過ごして頂けることを願い、引き続き相談業務に努めたいと思います。

この度は法人創立 50 周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。

私が勤務する中で印象深かった事は、来友会では四季折々の食材を使った料理を利用者様に提供し、季節の飾りつけを施したりと施設内でも季節を感じる事が出来る事でした。法人設立者の前理事長は季節の花々を取り入れた生け花を玄関に飾り様々な人の心を癒しておられました。秋には庭の柿を採り干し柿を、春にはつわぶきも摘んで利用者の方々とあくで手が真っ黒になりながらも楽しく会話をしながら勤めさせていただきました。敬老会では催事として利用者様と一緒に踊るなど参加いたしました。法人の月刊、季刊誌「らいゆう」の取材で利用者の方に話を伺いに行ったときは戦争体験の辛い話や、家族のこと、どんな仕事をしてきたかなど様々なお話を伺いました。事務職でしたがこの様に利用者の皆様とのかかわりには感謝しています。懐かしく素敵な思い出となっています。

在職中に職員研修で利用者様は人生の先輩ですからその方々の人生、気持ちに寄り添って傾聴することが大切としりました。また、自身や自身の家族が利用したいと思える施設、サービス提供ができているか、「あー本当だな、なるほどなあ」と強く心に残っています。だからといって簡単にそのような対応ができるはずもなく、失敗は山ほどし、落ち込み反省し周りの先輩方や会話に上手な職員さんの対応から教えて頂くこともあり、たくさんの職員の方々の力をおかりしました。

利用者様が笑顔で「また待ってるね～」と手をふっていただいたので少しでも実践できていたのであればと感じています。

こんな風に周囲の方々に支えて頂きながら来友会で勤めることが出来ていたことを退職後も感謝しております。

最後になりましたが、来友会でお世話になった方々に感謝し、利用者様の安心な生活と理事長、施設長をはじめ職員の皆様のご健勝とご活躍、来友会の益々の発展を願っております。

お祝いの言葉 利用者家族様

桑江 孝幸

平成 30 年 4 月頃、父と母が来友館と陽だまりにお世話になる事から貴法人を知る様になりました。初めの数年は父と母が施設での生活になれる様にフォローしていましたが、自由と安全が表裏一体の " 施設での集団生活 " は不安で文字通な生活をしてきた両親には大変な思いだったかもしれません。5 年あまりが過ぎ職員さんをはじめ各関係者の方々の支えがあり何とか平穏に暮らせていると思います。ありがとうございます。

入居して数年が経った頃 " 月報らいゆう " という季刊誌を受付でいただきふと一面の題名で興味が引かれて、読み進めていくうちに共感したり感心したり胸に刺さるような言葉が多く、それから毎月楽しみの一つになりました。" 月報らいゆう " には来友会で働いている職員さんも文章を書いていて、直接関わってくださっている方々の文章は親近感が持てて読んでいてとても楽しいです。皆さん利用者さんの事を一生懸命考えて書いているのが伝わりますし段々文章も読みやすく上達してきている様に思います。私ごときがいうのもおこがましいですが…。

" 月報らいゆう " の中の私の履歴書も毎回読ませていただいています。来友会に関わる人々もそれぞれの人生があり、それぞれたくさんの困難を必死に乗り越えてこられたんだと思います。そして縁があって皆、来友会で出会って結ばれているのかなと思います。因みに私も来友館が開設した年度に誕生しています。勝手に縁を感じています。来友会も最初は一法人一施設だったところからとても苦勞されながらも清明な運営をしてきたからこそ今日の社会福祉法人来友会があるのだなと思います。そしてこれからも「総ては利用者の安心と信頼を得るために」の理念のもとで様々な困難を乗り越えてください。本当に創設 50 周年おめでとうございます。

淵田 智

社会福祉法人来友会が創立 50 周年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

貴法人におかれましては、軽費老人ホーム来友館の運営からサービス付き高齢者向け住宅事業、小規模多機能型居宅介護事業など多岐にわたる高齢者の介護事業にご貢献されており、その長年のご努力に対しまして、深く敬意を表する次第です。

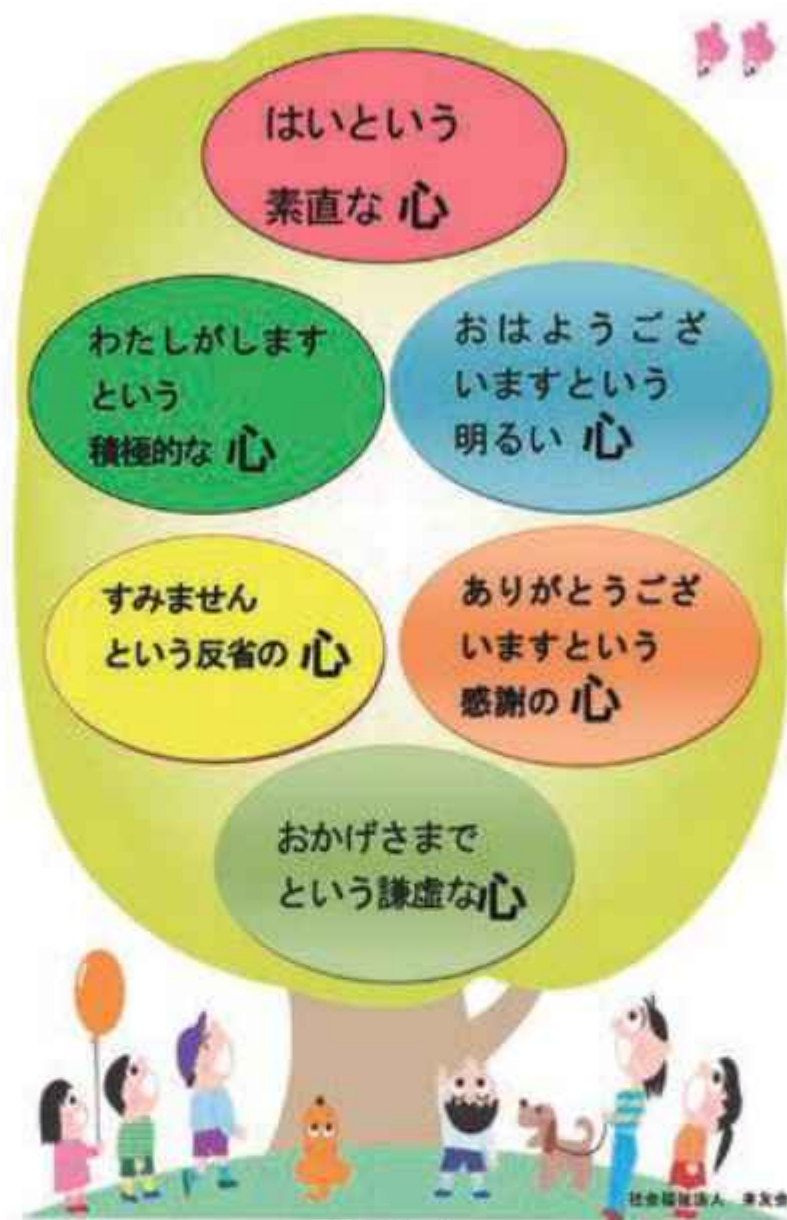
現在、貴法人が運営する来友館に父が入居しており、父にとって出来たての食事を決まった時間に摂ることができ、食べることが好きな父はたいへん喜んでいるとともに、私ども家族にとっても大きく負担が減ることができています。こうした来友館での一人ひとり親身になったお世話により、父はもとより家族にとっても貴法人は本当に心強い存在となっており、その日々のご尽力に対しまして改めまして感謝申し上げます。

今後とも、私の父と同様に多くの高齢者にとって、人と人のつながりの中でより豊かに地域生活が送れるよう、お力添えをいただければ幸いです。

結びに当たりまして、社会福祉法人来友会の今後ますますのご発展と貴法人にお勤め及びご利用されている皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

小早川 操

来友館創立 50 周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。来友館には私の両親と伯母がお世話になっております。それぞれに持病があるのですが、コロナ禍で私共家族がどうすることもできない状況の中で当たり前のように平穏無事に毎日過ごせる事は施設長様をはじめきめ細かに利用者とその家族の支えとなりご努力とご尽力をかさねてこられました職員の方々に深く、深く感謝致します。私も娘、姪として微力ながらお役に立ちたいと思っております。来友館の一層のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



六つの心



愛する心

51 年目に向けて！新たに始動する来友会スタッフ紹介

職員に
推しと好きな言葉を書いてもらいました。

401 多部 敦子



グスタフクリムト
名画「乙女」

402 高井 時子



大谷翔平
健康第一

301 宮内 誠



ニーナシモン
NO KEIBA
NO LIFE

302 森本 真理子



嵐
「Are You Happy?」

201 水田 美幸



AI
Story
心に染みる歌詞

202 地主 真知子



コブクロ
赤い糸
癒しです♪

101 岸本 悠志郎



藤井 聡太
「果報は寝て待て」



403 中川 涼子



コブクロ
蒼く優しく
(Live Ver)

405 松木 トシエ



水森かおり
鳥取砂丘

406 小南 弥生



金爆
FANATIC ◇ CRISIS
「夢じゃない世界」

303 幸田 芙海



中田 英寿
サッカーが好きに
なりました

305 奥田 琴美



milet
Inside you

306 中道 一治



矢沢 永吉
A・DAY
いい曲

203 安木 和子



清水依与吏
(back number)
手紙 聴いてね

205 向 元子



城島 茂
「宙船」

206 西村 成生



USJ
おもいやり



事務所 西座 久史



JOJO(ジョジョ) 面白いですよ
タチウオ釣ろう! 釣りも楽しいよ

小規模多機能ホーム くすのき

釜谷 邦子



坂本 九
ステキその笑顔

黒野 理代



GACKT
出合いに感謝

石田 シゲ子



近本 光司(阪神)
自問自答

高田 洋子



ABBA
一期一会

甲斐 佐代子



Greeeen
ともに
笑顔を大切に

木本 和紀



優里
朗らかに

前谷 かおり



RYO(ケツメイシ)
ライフイズビュー
ティフル

出原 和幸



ジャイアント馬場
全て世は事もなし

田中 瑞恵



北川 悠仁 (ゆず)
健康第一

長野 泰士



THE BLUE HEARTS
無病息災

安倍 ヒトミ



木村 拓哉
いつも笑顔で

樋口 佳名子



平野 紫耀
優柔道進

芳坂 ひろ子



長瀬 剛
この瞬間を大切に

道林 丈裕



エリナカリモヴァ
みんな仲よく

武居 直子



高橋 一生
一致団結！

小島 義忠



川口 春奈
共感力

中村 陽



シソンヌ じろう
理解を深める

白川 啓子



ディーンフジオカ
いつもきれいに

伊瀬 廣子



パクソジュン
一期一会

赤坂 奈緒美



B'z
唯一無二

倉田 和也



愛彩ランドの
ランチビュッフェ
食べ放題は癒し

尾山 高英



ソロキャンプ
自然を大切に

阪田 千恵



さだまさし
笑顔

サービス付き高
陽カ

和田 万利子



EXO
ベッキョン
一期一会

深田 哲仁



大谷 翔平
日本の誇り

大谷 玲子



Clean Bandit
行雲流水

小畑 純子



BUMP OF CHIKEN
傾聴

山本 理枝子



中森 明菜
長生きします

市川 佳子



大谷 翔平
努力

高齢者向け住宅
ごまり

創立当時から現在までを振り返って

理事長 西座 新二

来友会が発起人による設立の決議を得て厚生省から1973年3月23日付で法人の認可を受けました。認可を以って法務局に法人登記したのが同年4月4日で今でも来友会の法人登記を法務局でとれば、誰でもこの日にちを確認することが出来ます。次いで社会福祉法人の使命である社会福祉事業の開始は同年5月28日に第1種社会福祉事業である軽費老人ホーム来友館の開館（事業開始）でした。あれから何と半世紀が過ぎ去りました。

この50年前の来友会を振り返って、地域社会とどのような関わりを以ってきたのでしょうか。この年は中東地域（石油の主要産地）においてアラブ諸国がイスラエルを奇襲攻撃し第4次中東戦争が勃発し、石油を武器にアラブ諸国に味方しない国には石油を売らない、また石油価格を一方的に5倍に引き上げるという暴挙に出て世界の石油市場は大混乱に陥りました。世間で言われた「オイルショック」が起きました。その最中に来友館の建築工事が始まっていました。鉄筋コンクリート造を建てるためには子供でも知っているように鉄筋とコンクリートが必要です。燃料の石油がなければ、鉄もコンクリートも生産できません。建築資材が高騰と納期遅れにより来友館の開設は2ヵ月遅れとなりました。

この時代未だ社会福祉事業（特に老人ホーム）は泉佐野市春日町では良く思わない人が多く、高齢者を施設に取り込んでまともなサービスも提供せずにお金だけを巻き上げる金儲け施設と呼んでいる人が近隣にもおられたそうです。当時厚生省が認可する第1種社会福祉事業の老人福祉施設は特養・養護・軽費の3施設で、軽費老人ホームは最も補助金が少なく（他は措置費）最も金銭的に厳しい施設と言われていました。私が施設長になって大阪府の高齢者事業者課に行くと、担当の職員さんから「いつ来られても来友館さんはお金が厳しいと言いますね」と言われたものでした。

平成10年当時来友館にはエレベーターがありませんでした。建設当時は軽費老人ホームにエレベーターは不要として、厚生省はエレベーターの建設費を補助対象にしませんでした。その為に来友館は開設時よりエレベーターの無い施設で入居者さんにご苦勞を掛けて運営してきました。2年後に迫った介護保険制度の発足時に階段を4階まで元気に登れる利用者さんだけを入居対象にしていっても運営していけるのだろうか。私はその年の大阪府の大規模修繕補助金にエレベーター追加設置を申請しました。

直ぐに大阪府から呼び出しがあり、西座施設長さんは大阪府社協の軽費分科会長をされておられるので、言うまでも有りませんが、「大規模修繕」とは古くなって使用に耐えられなくなったものを取り替えて新しくする事ですよ。と念をおされました。私はまたも「来友館にはお金がありません。昭和48年に厚生省が老人ホームにエレベーターが不要と言ったのが間違いなのです。大阪府で何とか助けてください。今入居者さんの平均年齢は80歳なのですよ。」と泣きつきました。担当者の方は課長に相談すると言ってくれました。大阪府の大英断でエレベーター設置工事が大規模修繕工事として認められ、平成11年4月には皆さんでエレベーターの初乗りをして喜んだものでした。

平成12年4月の介護保険事業が始まると訪問介護事業と居宅介護支援事業を開始しましたが、そこは介護の経験が浅い軽費老人ホーム来友館の職員を転出させて行ったものですから他の介護福祉施設のように利益を上げることは叶いませんでした。父の死後、西座家の土地の古家解体と整地事業も終わり、大阪府農林水産部の森林再生加速化補助金で小規模多機能ホーム「くすのき」を開設し、国土交通省のサービス付き高齢者向け住宅建設補助金と林野庁の15年間の借入金の利子補給を受けてサービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」を平成26年に開設することが出来ました。

2010年頃当時のキャノングローバル戦略研究所研究主幹松山幸弘氏が日本経済新聞に掲載した「お金を貯めこむ社会福祉法人」と題したコラムで課税を免除されている社会福祉法人が社会貢献もせず、法人内に内部留保を貯めこいでいるのは如何なものか。などと社会に訴えました。この意見に同調した財務官僚内でそんなに内部留保が多いなら社会福祉法人を課税対象にすればとの意見が出ました。この話を聞いた厚生労働省から財務省が課税を検討しているので、総ての社会福祉法人は最低1つ以上の社会貢献活動をするようにとお達しが出ました。来友会は平成元年から法人の独自の社会貢献事業として近隣の独居老人に週2回の給食事業をしておりました。また大阪府社会福祉協議会老人福祉部会の生活レスキュー事業（現在の大阪安心ネットワーク）に参加しました。次いでくすのきの2階の空き室を利用し無料低額の社会貢献宿泊所「くすのき」を開設し多くの方にご利用していただいております。

カメの歩みの如き来友会の進歩ですが、今後隣接する土地を購入し、福祉と社会貢献の出来る事業展開を目指してまいります。引き継ぎ皆さま方の温かいご支援をお願いいたします。

10年間の出来事（平成26年～令和5年現在）

敬老家族会 H26.10月

今年の敬老会の食事会も施設長の乾杯ではじまり豪華な食事を前に入居者様、職員一同と和やかに楽しく頂きました。午後からの式典では国歌、館歌合唱、施設長・来賓挨拶に続き田所さんによる入居者代表の挨拶をされました。二部での演芸会ではお楽しみの桑田ます似さんのトークショーへと移っていきました。今年も家族様の出席も多く演芸会にも多数の方に参加して頂きました。元野球選手の桑田真澄さんのそっくりさんという事で色々な物まねを見せて頂き入居者様、家族様、職員も一緒になって爆笑でした。入居者様と家族様、ます似さんとの記念撮影も笑顔で楽しそうでした。終わりの言葉として入居者ご家族の代表として上田茂子さんの家族様の堂前様をお願いし、堂前様より来年も又元気な叔母と一緒に敬老の日を迎えたいと思いますとのあいさつを頂き、今年の敬老家族会も楽しい内にお開きとなりました。



お彼岸 H26.10月

今年は九月二十日から二十六日までが秋のお彼岸で、九月二十三日がお彼岸の中日、別名「秋分の日」です。仏教では太陽が昇る「東」を「私たちがいる世界」と考え、太陽が沈む「西」を「亡くなった故人の世界」と考えられているそうです。秋分の日、太陽が真東から昇り真西へ沈み、昼と夜が同じ十二時間の日なので、故人への想いが一番通じやすくなると考えられているのだとか。春分の日や秋分の日にお墓参りや仏壇にお供え物をするのは、このような理由からのようです。亡くなった方へ「元気にしてる？」「いつもありがとう。見守っててね。」などの気持ちが一番届



くそうです。ぜひ語りかけて下さいね。二十日には職員お手製のおはぎを振舞いました。「美味しい」と言って頂けてホッとしました。「きな粉の方が甘かった」という声もありましたが・・・来年は更に美味しいおはぎを提供できるよう腕を磨きます。

日帰り温泉 H26.11月

十月十七日秋晴れの中、利用者の皆様と日帰り温泉旅行に出かけました。今年は岸和田の牛滝温泉いよやかの郷というところです。お湯はとろりとしており、入浴された方は「肌がすべすべになった。」「気持ちよかった」と、気に入られました。施設長の乾杯で始まったお食事は、豪華で美味しく喜んでいただきました。

まだ紅葉を見るには少し早かった様ですが自然の中は空気が綺麗で気持ちの良い一日でした。来年も皆様と一緒にに行けることを楽しみにしています。



陽だまり家庭菜園 H27.4月



陽だまりで家庭菜園を始めて二カ月程経ち収穫出来る野菜も増えてきました。

入居者様に収穫して頂き、また収穫したものを食事時に召し上がって頂き。今回収穫したのが、ししとう、トマトを収穫しました。まだまださまざまな種類の野菜もあるので次回も楽しみにしていて下さい。陽だま

りも再来月にはオープンして一年になり、この一年で職員さんが増えたり、入居者様が増えたり行事ではたこ焼きパーティーやベビークラス、また初めて間もない家庭菜園、来友館やくすのきの行事にも参加させて頂いたりし二年目は一年目よりも陽だまりでもさまざまな事に挑戦していきたいと思います。



おまつり H27.6 月

春日町のおみこしが来友館の前へ来られました。目の前で担がれるおみこしは大迫力でした。拍手喝采でした。来友館・くすのきの利用者様が十五名程楽しめました。

このあと獅子舞も来られましたが、残念ながら入居者さんが居室へ戻られた後でした。



南京玉すだれ H27.10 月

先日、陽だまりに南京玉すだれを披露しに陽だまりで勤務している職員さんが所属する華一座さんがこられました。

陽だまりでは初めてこのような行事を行った為に入居者様がどのような反応を見せて頂けるのかと心配でしたが入居者様の笑顔もあり、とても喜んで頂けたので安心しました。



日帰り温泉 H27.11 月

十月六日に恒例の秋の日帰り温泉があり施設長をはじめ来友館、くすのき、陽だまりの入居者様と職員の総勢三十二名で、いよやかの郷に行ってきました。

温泉は「つるつる」「とろとろ」で絹のような肌触りから「お湯の羽衣」と称され「幻の名泉」、「美人の湯」と言われています。ただ少し他のお客様が多く一寸ゆっくり入れ

なかった様でした。でも湯上り後のお料理は、お刺身や天ぷら、寄せ鍋、炊き込みご飯などボリュームがあり美味しく頂きました。

又来年も良い温泉を見つけておきますので、皆さん楽しみにしててくださいね。



「祝賀会」 H28.2月

平成二十八年元旦、施設長の新年のあいさつで祝賀会が始まりました。今年のお正月はとても暖かく過ごしやすいお正月でした。大きな餅の入ったお雑煮を入居者の皆さんも元気に食べられていました。来年のお正月もみなさん元気で健康で迎えられる様にしてくださいね。



「おせち料理」「お雑煮」

おせちは、毎年違った物をと栄養士さんが工夫して考えて下さり、職員全員が協力して一日がかりで作ります。今年の出来映えはどうでしたか？海老、数の子、豚の角煮、ぼうだら、チキンロール、ぶりの照り焼き、煮物では高野、ふき、信田巻き、ごまめ、黒豆、甘栗、きんかんの甘露煮は可愛く、まわりをひきたたせていたように思います。

又、雑煮は白味噌仕立てで出しの香りが良く、大変美味しいと、おかわりもたくさんして頂けたそうです。

元旦は、味噌の雑煮でしたが、四日はおすまし雑煮、好みがあると思いますが、どちらも食べられて良かったと思います。



食堂大掃除 H28.3月

来友館伝統の食堂大掃除。

毎年、春・秋・年末と三回行います。自分達が使用する場所だから、業者には依頼せず自分達の手で掃除をしましょうと長年受け継がれてきたそうです。

テーブルや椅子を片付けて掃除機をかけ、床を洗剤で磨いてからワックスを二回して終了です。簡単そうに思いますが、限られた時間内で終了しないといけなし、中腰の作業はとても大変で、次の日は筋肉痛で辛いです。

でも、ワックスをすることにより、床が汚れにくくなります。
毎日使う食堂だから、綺麗でありたいですね。



布団太鼓 H28.8月

七月十八日、布団太鼓のお祭りを見に行きました。

商店街を歩き、神社には、たこ焼き、焼きそば、かき氷などいろいろな出店がたくさんあり、活気と美味しそうな匂いで充ち溢れ、お祭りムードを彩っていました。赤いふんどしのおっちゃんを見て、利用者さんが昔を思い出して、大変よろこばれていました。また、新町の子供布団太鼓も見ることができて、「若いエネルギーを吸い取って、いくらでも元気になれるなあ」と笑いながら話しておられました。



春のお食事会 H29.4月

恒例の「春のお食事会」が、三月七日（火）にあり、今年は、岸和田城近くの五風荘という所に行きました。五風荘は、その昔、お殿様の別荘で、その後に、岸和田在住の財閥が買い取ったとのこと。とてもりっぱな建物でお庭もすごく広い所でした。そんな五風荘でのお食事は、お寿司に天ぷら、しゃぶしゃぶと、とても豪華なメニューでした。今年は、来友館、くすのき、陽だまりの入居者様及び職員も入れて四十二名という多くの参加でした。

広いお部屋で、庭を眺めながらのお食事は格別でしたね。



法人開設記念日 H29.6月

五月二十七日（土）に、第四十四回法人開設記念の催しがありました。

普段の円卓ではなく長机での食事ということで、皆さん、日頃交流の少ない方ともお話をされていました。豪華なお料理に舌鼓をうったあとは、お待ちかねの演芸会です。プロ歌手の伊藤さんにお越しいただき、華やかな衣装や美声で舞台に花を咲かせていただきました。また、桃ノ木台小学校落語クラブの生徒さんによる落語、小ばなし、紙切り芸、南京玉すだれを披露していただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。皆さん、楽しんでいただけましたでしょうか。



ポップサーカス H29.7月

和歌山大学駅前のイオンモールの駐車場にてポップサーカスが来ているという事で、希望者を募り、皆さん何十年ぶりに見る方や初めて見ると言われていた方など大変楽しみに3施設合同で見に行きました。平日ということもあり、満員とまではいきませんが沢山の方がお越しになられ、スタッフの方も丁寧に対応してくださり、大変良い環境で観賞することができました。



避難訓練 H29.8月

七月六日（木）に、消防隊員の立会いのもと、来友館、くすのき、陽だまりの三施設で避難訓練を行いました。来友館では、職員の誘導のもと、約八分で全員避難することができました。消防隊員の方からも、お褒めの言葉をいただきました。次回は十二月に、夜間想定で避難訓練を行う予定ですので、皆様のご協力をお願いします。





祝百寿 H29.11月

ご利用者の鉄野さんが今年百歳を迎えられるにあたり、泉佐野市長の千代松市長がお越しになり、祝賀状と記念品の贈呈をされました。

くすのきからは、メッセージボードを皆さんで作り、お花のプレゼントをさせていただき、前日にはお部屋の飾り付けを行いました。鉄野さん、おめでとうございます。

いつもお食事をニコニコしながら完食してくれる鉄野さん。しっかり食べることが元気の秘訣なんだと見ていていつも思います。

これからもしっかりご飯を食べ、いつまでも元気にすごしてください。



訪問カット H30.2月

毎月末、陽だまりに訪問カットの方が入居様様の散髪をしに来て下さいます。散髪を希望される入居様様を対象に男性の美容師の方に髪を丁寧に切って頂き、さっぱりされたご様子で過ごされています。



市制七十周年記念表彰 H30.5月

四月一日（日）エブノ泉の森ホールにおいて、「泉佐野市市制七十周年記念式典」が行われ、社会福祉法人来友会が、「永年にわたる地域社会の発展と市民福祉の向上に多大なる貢献をされた。」ということで、泉佐野市市長より表彰を受けました。



くすのき大運動会 H30.6月

五月十五日（火）にくすのきで運動会を行いました。

赤組、青組に分かれて点数を競って玉入れ・玉送り・魚釣り・パン食い競争と一生懸命参加し、その中でもパン食い競争は自分の好きなパンを必死にとろうとしているが、なかなか取れずに、最後は手で取られている方も居られ、皆さん笑い声が絶えない運動会になり、職員も一緒に楽しい時間を過ごさせて頂きました。





端午の節句 H30. 6 月

三月に比べ四月、五月と徐々に暖かくなって来ていますが季節の変わり目なので体調には気を付けてください。話が変わりますが陽だまりでは、ひな人形に続き五月は端午の節句があるので玄関正面に武者人形と鯉のぼりを設置しましたので是非見に来てください。



秋の日帰り温泉旅行 H30. 11 月

十月十六日（火）に、来友館、くすのき、陽だまりの三施設合同で、犬鳴温泉不動口館へ行きました。泉佐野市内とは思えぬ自然豊かな所で、温泉につかり、お食事をしました。特に、地元で獲れた新米を目の前の窯で炊いて食べたご飯がとても好評でした。次の日、参加された入居者の方から「昨日はよかった。とても美味しかった。」と声をかけていただき、とても嬉しく思っています。





春の叙勲 R1.6月

春の叙勲「瑞宝双光章」受賞！！

春の褒章受章者に来友会の理事長が選ばれました！「瑞宝双光章」の受賞、誠にありがとうございます。軽費老人ホーム来友館の施設長を二十九年間務められ、また各種福祉団体の代表を務めるなど社会福祉に対する多大な貢献が評価され受賞されました。このような名誉ある勲章を受章された法人で働くことが出来ることを嬉しく思うとともに、この賞に恥じない施設でなければならないことを深く実感いたしました。小さな法人であっても、コツコツ努力を続けることでこのような素晴らしい勲章をいただくことができます。私達職員一同も、一人一人のご利用者を大切に、より良いサービスを提供させていただくことで、ご利用者から、地域からも愛される施設を目指してコツコツ努力をしていきたいと思ひます。理事長の次男として、父を誇りに思ひます。本当におめでとうございます。



瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）

日本の勲章の一つで、瑞宝章六つのなかで五番目に位置する。平成十四年八月の閣議決定「栄典制度の改革について」により、それまでの勲五等瑞宝章から名称が変更された。翌平成十五年五月の閣議決定「勲章の授与基準」によれば、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をはたし成績をあげた人に対して、六番目の瑞宝単光章以上を授与するとなっている。受章者には保護司や小・中学校長などが多い。伝達は所管大臣が行うが、総務省および厚生労働省関係は都道府県知事が行う。

敬老家族会 R1.10月

九月十四日（土）敬老家族会が開かれました。ご家族が来館された方は、居室にて一緒に、来館されない方は職員と一緒に食堂にて昼食をいただきました。今回はメニューも海老天がキス天に、鯆の塩焼きが鰻へと一部変更されていました。お味はいかがでしたか？午後の部では国歌斉唱・館歌合唱に始まり、市議会議員の中村哲夫様に来賓挨拶をしていただきました。入居者代表の挨拶をしていただいた東垣内さん、ご家族代表の挨拶をいただいた岡田様、ありがとうございました。スカイブリッジさんの漫才はテンポが良くて大変面白く、佐野様のオカリナが始まると一変して和やかな雰囲気に包まれました。



クリスマス会 R2.1月

二十日金曜日にクリスマス会と誕生日会を行いました。

十二月は三名の入居者様が誕生日を迎えられました。

今回はサロン・デ・元町の井川サンタによるマジックショーです。風船を食べるマジックにカードマジック、皆様、ビックリされていました。

その後のピンゴゲームでは大きな声を出したり、笑ったりと本当に楽しい時間でした。



豆まき R2.3月

二月の節分イベントで鬼退治をしました。豆の代わりにボールを投げるのですが、結構体格のいい胸板の厚い鬼が作れたので、破れることもなく皆さんの攻撃に最後まで耐えてくれました。おへそや顔にあたると面白いのか、笑い声があがり、色々な掛け声で一生懸命ボールをぶつけていらっしゃいました。鬼退治のあとは、簡単な言葉遊びをしながら、コーヒーとカステラを食べ、和気あいあいな雰囲気職員も楽しく同じ時間を過ごさせていただきうれしく思いました。



コロナ対策 R2.6月

くすのきでは毎日の日課、コロナ対策として入居者様に手洗い、手指の消毒、うがいをしています。また体操の時間を増やしたりレクリエーションの時間を少しでも長く設けたりと入居者様の健康管理には注意を向けています。また歌謡ショーを見たりと有意義な時間を過ごされている入居者様も居られます。



訪問カット R2.7月

自肅が和らぎ三か月振りに美容師さんに来て頂きました。今回はご入居者様ほぼ全員になるため、月森美容師さんの計らいで西本美容師さんの応援を得ることができました。お二人のテキパキとした手さばきで「別嬪さん」「男前」にと笑顔も良く素敵になりました。



誕生日会 R3.5月

四月二十日（火）に、四月生まれの方の誕生日会が行われました。今回のお食事は、皆様お待ちかねのお寿司で、マグロ・スモークサーモン・鰻・ホタテ・生ハム・玉子・サラダ巻きと種類も豊富でした。デザートはロールケーキもふわふわで美味しいと好評でした。

今回は、西村さんがオリンピックの聖火リレートーチを手に登場され、入居者の皆

様にも持って頂いたり、記念撮影をしました。レクリエーションでは、的当てをして、出た得点に応じた枚数のクジを引いて頂きました。胸の高さから落とす球は思わぬ所に落ちる事もあり、笑いも生まれ盛り上がりました。クジに書かれた個数のお菓子を選ぶ時にも良いお顔がみられ良かったです。次回も奮ってご参加下さい。



東京オリンピック R3.5月

大阪で4月13・14日に開催された聖火リレーにランナーとして来友会の職員が走られ、その後聖火トーチを見せて下さいました。

入居者の皆様は「ご利益があるわ」「生で見られるとは思わなかった」「ありがとう」など昭和39年に開催された東京オリンピックを思い出され大変喜ばれていました。



たこ焼き R3.6月

5月9日、陽だまりでは入居者様に召し上がって頂こうと、たこ焼きを焼きました。調理している過程を私は見学していましたが、職員数名で手際良く丸く美味しそうなたこ焼きが、次々に仕上がる様子は見ていて楽しかったです。冷凍ではなく、1から手作りしたたこ焼きは入居者さま全員完食でした。普段から食の細いかたも「おいしいわあ」

と喜ばれ大成功となりました。「次はお好み焼きが食べたいなあ」なんて声も聞こえ、とても楽しい時間でした。



納涼祭 R3.10月

先月11日に納涼祭が開催され、くすのきはたこ焼きをしました。また、くじ引きを使って個数を決めたりとアイデアを出しながら少しでも楽しんで頂こうと工夫も行いました。手作りのたこ焼きに入居者さまも喜んで頂き、また「おいしい！」と言ってもらえたので良かったです。



一円玉落としや射的などのゲームや、おでんにたこ焼き、ジュースなどどれを食べるか悩んでしまうラインナップでした。入居者の皆様も童心に帰ってゲームを楽しまれ、たこ焼きなど「おいしい」と喜ばれ楽しいひと時でした。



ハロウィン R3.11月

今年もハロウィンの季節がやってきました。ハロウィンとはヨーロッパ発祥のお祭りで日本で言うお盆にあたります。去年は大々的に出来なかったのが今年は去年と同様、飾りつけと利用者さまにも少しですがお菓子のプレゼントを配らせて貰いました。利用者さまもサプライズのプレゼントに喜んでいただけたので良かったです。



陽だまりでは、月曜日と水曜日の週2日、おやつを提供を行っています。その日は皆さま楽しみにしておられますが、今週は22日の金曜日にも、一足早くサプライズでハロウィンのケーキを食べて頂きました。ケーキを見ると皆さま笑顔になり「かわいい」「おいしそう」と喜んで下さり、楽しそうにお話ししながら食べておられました。



「避難訓練」 R4.7月

突然鳴り響く非常ベルにより声掛けをしながら避難誘導を行い、参加職員全員で協力し避難訓練を終えることができました。参加人数は以前と比べ多く、私は何度も訓練に参加しましたが「声掛け」や「連携」など素早く全てが揃うことでより早く避難できると思います。火災想定での訓練となっていますが地震などの自然災害の際は訓練同様

に連携し合い素早い避難誘導をして下さい。



「お誕生日会」 R4. 10 月

9月20日（火）に9月生まれの入居者様のお誕生日会が行われました。

9月生まれの入居者の皆様おめでとうございます。また、今年もコロナの影響によ



り敬老家族会が出来なかった為、在館のお祝いも併せてさせて頂きました。

18 名の方が節目を迎えられ、中でも下村さん・大里さんは 15 年の歳月を来友館で過ごされました。これからも元気でお過ごし下さい。今回のお食事は色彩弁当で焼き魚、ささみチーズフライ、田楽、煮物、酢の物、デザートでした。彩りが綺麗でとても美味

しかったです。レクレーションでは「牛乳パックジェンガ」で、どのチームが一番高く積めるかを競い合いました。皆さん倒さないように真剣に積まれていました。すごく高く積まれているチームもあり大変盛り上がり入居者の皆さんと楽しいひと時が過ごせました。



秋のらいゆう祭り R4.12月

昨年の納涼祭に続き今年も形を少し変え行われました。美味しいおやつと射的ゲーム
駄菓子詰め放題などイベント盛りだくさんで大盛況でした！



「駄菓子屋きんかく」

十一月も終盤を迎え、ますます冬の気配が色濃くなってまいりました。

あちらこちらで、紅葉が見頃になり、近くの神社では、七五三の家族連れで賑わっています。来友館では、十一月十九日に、来友祭を開催させて頂きました。今年は昨年と規模や時間帯が異なりましたが皆様、思い思いに楽しんで頂けましたでしょうか？来友館では、調理場のスタッフが手作りしたみたらし団子、景品が楽しみな射的では、皆様見事に獲得することは出来たでしょうか？また、格付けゲームでは全員が一緒になり盛り上がりました。陽だまりからは、職員が朝からコトコトと煮込んだおでん。味がよく染み込んで美味しかったですね。くすのきからは、当初、クレープを手作りし皆様に提供する予定でしたが、アイスクリームなど季節柄の事もあり、話合いの結果、駄菓子屋を行うことになりました。当初、並べた駄菓子を一人、三つぐらいかなと考えていましたが、施設長の計らいで詰め放題となりました。利用者の方、来友会に携わる全ての人が笑顔で過ごせるひと時になるようにと、職員で意見を出し合い、準備をし、ひとつひとつ形にしていく中で、私自身、チームワークの大切さなど、多くのことを学ぶことが出来ました。そして、来友館、陽だまり、くすのきの三施設が集まり、力を合わせて一つのことを成し遂げ、利用者様の笑顔が見れたことが何よりも嬉しいです。学生の頃の文化祭の様で職員も楽しく過ごせました。皆様のご協力に感謝しております。ありがとうございました。



入居者の皆様に聞いてみた

淵田 清さん

ここに入ったきっかけは、病気になって一人で暮らせないから息子が探してきてくれたの。来た時のことはあんまり覚えてないかな。

奥さんを早くに亡くして長いこと一人で生活してきたから、話し相手がいるのは嬉しいかな。それと、ここのご飯は美味しいし。カラオケ好っきやからよう誘ってくれるわ。得意な歌は「おゆき」と「北国の春」を歌うんや（笑）時代劇が好きやから毎日見てるねん。あきひんわ（笑）でも、もし出来るならまた田舎に帰って田んぼと畑をして暮らしたいなあ。作ったお米やトマト、ピーマンみんなに食べてもらいたいな。でもやっぱりテレビで時代劇をみて、ここでカラオケしてのんびりと暮らせるのが一番いいかな。



山出谷 雅子さん

来友館は家から近くでな、他の施設もいっぱい見学したけど、来友館は御馳走が食べられるから来たんよ。御馳走につられてん（笑）知り合いも何人かいたしな。

6月で家を壊すから、壊すまで外出できる日は家に風を通しに行ってた。思い入れがある家やからなかなか離れられんわ。わたい佐野から出たことないねん。昔はここら辺「円田」って地名やったんやで。タオル工場も沢山あってな、女の人はいたい織屋してタオルを作ってた。昔から来友館はあるけど、まさか自分がここに入ると思ってなかった（笑）



佐野 紀代子さん

わたし入居したきっかけは、大きな台風で家が壊れたので、「どないしよう」と途方にくれてたら、ぼったりあった市役所の福祉の人と会って紹介してくれたのがここやったわ。すぐには入れなかったから9か月ほどくすのきにお世話になってな。民生委員や役所の福祉の人など親切な人が多く助かりましたわ（笑）ここに来る前にお芝居を見に行ったら野出さんとぼったり会って縁を感じたねん。毎日好きな本読んだり、パズルしたり気合う人とオセロしたり楽しく過ごさせてもらってます。そうそうレクリエーションのカラオケ大会で準優勝して賞状貰った時は嬉しかったわね（笑）私、サバがあかんねんけど、ここきて食べれるようになった



て好き嫌いがなくなったから良かったかな（笑）

みなあんじょうしてくれて住みやすい。ここで十分してもろてるからこれ以上贅沢ゆうたらバチあたるな（笑）このままで一番幸せですわ（笑）

石橋 久慈さん

入ったときは、そうやの嫁さん（石橋喜代美さん）が先に入居してて、俺はくすのきで三か月ほど待ちやったな。ちょうどコロナが流行る前ぐらいで、パチンコ行き放題やったの覚えてるわ（笑）来友館に空きが出来てきたけど、俺は人の好き嫌いがあるから「こんな大所帯でうまくやっていけるか」と思て様子見やったけどすぐに慣れたわ（笑）仕事は墓石の職人やってて、ダンバラ公園墓地の兵隊さんの墓1／3は俺が作ったんやけどな（笑）石の切り出しやノミの使い方も難しく最初は親方について教えてもらたけど最後は自分の感覚で覚えていったことなど今となっては懐かしい思い出です。



週3回透析いってるから水分を制限せなあかんのが辛いと思ったこともあるけど今は体が慣れたからな（笑）できることなら水分は気にせんでとりたいな。特にビール（笑）肉もたくさん食いたい（笑）先のことは特に考えてないけど今のままでええかな（笑）最後は病院かもしれんけど（笑）

陽だまり入居者 佐竹 一恵さん

22～23歳で結婚し、24歳で一人目を出産し26歳で二人目を出産でともに可愛い女の子で、洋風ねんねこを着て子供をおんぶしてた頃を思い出します。友達の話ですが昔は電車の中で、あかちゃんにおっぱいをあげる時に隠さずに普通に出してあげていたのは、今では考えられない笑い話で、そういう時代だったですね。その友達とは、今でも仲良しで連絡を取り合ったりしています。それから60歳の時に母親が亡くなり次の年にもう一人の仲の良い友達の御主人が亡くなったりと色々あった次は、68歳で主人が亡くなりとても大変でした。自身にも、70歳頃体調に異変が。まっすぐに歩かれなかったり、言葉が出にくくなり病院に行き毎月行っていましたが出らず、検査の為一泊入院したところ、検査の時のミスで左半身麻痺になりその後遺症で落ち込んだりパニックになったりしているのを心配して、妹夫婦と娘夫婦が施設を探してくれたのですが、陽だまりで、入居する時は不安でしたが今では、陽だまりに入居出来て穏やかな雰囲気と優しい職員の方々のおかげで元気になった事を本当に感謝しています。



50 才になった時の私

職員 多部 敦子

このたび社会福祉法人来友会設立 50 周年、誠におめでとうございます。

この長い歴史において、一つの時代ではありますが私自身に在籍させて頂けた事が光栄であり、感謝に堪えません。そして今日まで半世紀にわたり社会福祉へ貢献された功績に改めて敬意を表し、今後も来友会の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

さて、私個人の 50 周年はといいますと、実年齢は控えさせて戴きますが、このような企画で振り返る事、特に深いエピソード記憶もなく恐縮であります。

ただ、その年齢を迎えた時、複雑な心境に陥ったのは鮮明に覚えています。栄養士としては、まだまだ未熟で無我夢中にアグレッシブに、ひたすら賢明であった様に思えます。未完というのは時に無敵である、と実感した日々でもありました。気力、体力も備わり世間一般働き盛りの年代でパワーも健在。それが故に 10 年後を描いて健康には留意する意識を持ちました。

プライベートでは念願のオーストラリアの地を訪れ世界遺産に魅了、洗練された思いは忘れません。中でもメルボルンの海岸で自然と共存しながら採餌するペンギンの群れに遭遇し、一糸乱れる事のないチームワークの姿に当時の自分の仕事を重ね感銘を受け、まだまだ世界のいろんな景色を見たいと希望に溢れる瞬間でもありました。

来友会のバックボーンは信頼と安心です。平凡かもしれませんが人間価値の真髄であると誇りに思えます。この法人が長く存続する秘訣がそこにあると信じてなりません。これからの時代に一層の活躍を期待しています。

職員 中道 一治

ぼくが、50 才の時に、人生で大きな事が起こりました。高校を出て 18 才の時に入社した会社が、倒産となりました。勤めて 32 年目でした。入社時は、周りの人たちからは、女性がこの世にいるかぎりハンドバッグは必ずいる物だし、ピーコックの社長は、お金持ちで、絶対倒産などしない、いい会社に入社したなど、よく言われました。入社時はほんとうに、よく売れて、担当であった梅田、難波、天王寺などの得意先に行くだけで他の営業マンより 4 倍も 5 倍も、売り上げがありました。直接イタリアや香港まで仕入れに行き、高額商品もよく売れました。でも現状の流れとともに、小売業がダメになっていき、サティをはじめ倒産する店が増え、先代の社長も亡くなり、売り上げも段々下がり、気がつくやうに倒産となりました。その頃、一人息子が 20 才の時

でした。専門学校を卒業する年で、昨年に大学の編入試験に合格をして、今年の4月から、大学入学という年でした。ぼくよりも息子の方が心配して、ぼく大学に行くのをあきらめよかと、言っていた事が、今でもよく憶えています。倒産しても、そこそこの退職金や失業保険などがあり、ぼくは息子に、お金のことは心配しなくてもよいからせつかく、がんばって合格したのだから安心して大学に行く様にいい、入学させました。一口で50年と言いますけど長い様で短い時で28才で結婚し30才で子供が出来、42才の時に母親が亡くなり、色々ありましたが、今は来友館で働かせていただき、幸せな人生を送らせていただいています。

職員 赤坂 奈緒美

私が50才の時といえば、子育ても終わりそれぞれ独立し、自分の時間が持てるようになった頃でしょうか。すでに来友会でお世話になっておりました。介護の仕事を始めて数年がたち、これからも続けていこうと思っていた事もあり、資格を取ろうと考えていた頃です。まず介護福祉士の資格を取ろうと思い、色々調べ、書店で問題集を買って勉強する事にしました。久しぶりの勉強でした。どこから手をつけていいのかわからず、仕事を終えてからの勉強は、なかなか進まなかった、というのが事実です。ただ、どうしても合格したいという思いが強くありました。なので合格したとわかった時は、本当にうれしかったです。今思えば、日々生活をして、仕事をし、勉強をして、忙しい毎日でした。でも、充実感があったなと思っています。諦めずに勉強してよかったなとも思っています。

最近、読んだ本の中に自分の年齢を気にせずに、色々な事に勇気を持って挑戦する事が大切です。興味があるのに手を出さないのはダメとありました。私自身もこの事を忘れず勇気を持って、色々な事にチャレンジしていこうと思いました。

職員 伊瀬 廣子

50歳の頃を思い出すのに頭の中は、ハテナマークでなかなか思い出せず、スマホの中の写真を見たりして少しずつ思い浮かんできました。その頃はまだ仕事は、訪問介護の仕事をしていました。初めは土地勘が無く付いて行くのが精いっぱい色々大変で何度も続けていけるかと思いつつも3年が過ぎていました。訪問の仕事での経験は、今思えば貴重な経験が出来て、とても良かったと思いました。

話は変わりますが、下の子が成人し甘えん坊だった子が就職のため一人暮らしをす

る事になり離れて暮らすのが淋しく心配な気持ちと大人になった喜びとで複雑な気持ちでした。それから、子供達とみんなで食事に行って小さい頃の話や、じいちゃん、ばあちゃんの思い出話をしていたその時が一番良かった頃だったと思い胸がいっぱいになりました。

これからも、一日一日を大切に楽しく元気に日々を過ごせていければと思います。来友館の50周年という祝記念に、これからも幸福が沢山訪れるような施設でありますようにと願います。

来たれや友よ

(来友館の歌)

作詞 奈良 吉太良

作曲 中 川 国 生

1. 淡路ヶ島に 雲流れ

波路はるかに六甲の

山々望む この館

来れや友よ 来友館

2. 感謝に日々を暮しつつ

清く正しく 明るくて

一つ家族の この館

来れや友よ 来友館

3. 若きあの日を想いつつ

静かな明日を望みつつ

みんな仲良く この館

来れや友よ 来友館

私の50年の車遍歴

理事長 西座 新二

私が普通自動車運転免許証の資格を得たのは、大学へ入学しその年の夏休み18歳の時でした。その年1966年（昭和41年）といえ、3年前に東京オリンピックが成功裏に終わり、1970年（昭和45年）の大阪万博に向けて経済の高度成長が加速し始めた時でした。今では当たり前になった高速道路が尼崎IC-栗東IC間が開通したのは東京オリンピック開催の1年前で、当時高校1年生の私は父に乗せてもらって初めて時速100km/hrを経験し、興奮したものでした。

当時父は堺市宿院町で木材商を営んでいました。当時の木材の運送は人が人力で木材を車に乗せ、小売りさんや大工さんの資材置き場に着くと、またトラックから人力で下していました。この仕事は大変な作業です。暑い夏は、脱水症状を起こす危険な作業でした。当時には脱水症状という言葉はありませんが、常に用意されている冷えた麦茶を飲んだものでした。日給は8時から5時まで働いて850円、時給に換算すると、106円でした。この時給を夏休み中働いて貯めて、次女の姉と折半で2人乗



トヨタ S800

www.katch.ne.jp/ より引用

りのトヨタ S800 を中古で購入しました。この車の特徴はトヨタの一番安い乗用車の初代パブリカ 800 の空冷水平対向2気筒 800 c c , 25ps（gross）の現在の軽自動車の3分の1以下の馬力でした。このエンジンの圧縮比を上げて気化器（キャブレター）を改良して31ps 迄改良したエンジンを搭載して車体を当時としては極限まで軽くした2人乗りのスポーツカーでした。競合車種に本田技研のS800 スポーツがありました。この車はトヨタ S800 と政策の思想が全く異なり水冷直列4気筒 800cc、京浜気化器を搭載した高価な高性能エンジンを搭載し車体もねじれ剛性に考慮した、フルオープンのスポーツカーそのものでした。その分価格は高くトヨタ S800 の2倍近くの価格で中古車といえども到底私の手に入る車ではありませんでした。姉と二人でこの車を1年以上乗りました。その後も大学の休日の材木配達や家庭教師のアルバイトでお金をためて念願の本格的スポーツカー日産フェアレディ 2000 をこれまた次女の姉と折半で購入しました。この車は水冷直列4気筒 2000cc、SOHC キャブレターはミクニソレックスツインストロークを2基搭載 145ps フルオープンのスポーツカーで今まで乗って



フェアレディ 2000

www.spiritgarage.com/ より引用

160ps クローズタイプのスポーツカーでした。(ボンドカーは撮影の為オープンでしたが) 価格は286万円、製作台数は380台程度とされています。到底学生がアルバイトで買えるような車ではありませんでした。

姉と私の愛車日産フェアレディ 2000 を大学生の3年間を乗り続けました。さすがに小さな車体に大排気量の車ですから Speed は驚くほどよく出ました。ある時、名神高速道路が愛知県小牧 IC から岡崎 IC まで延長された(東名高速道路の小牧—岡崎間が完成した)ので、早速トランクに20リットルのガソリントankを2個積んで深夜泉佐野から岡崎まで高速ドライブに出かけました。サブドライバーは高校からの友人小川君(故人)で巡航速度180Km/Hr で車の走っていない高速道路を駆け巡りました。

その時の燃費は忘れましたが、2分間で約1リットルのガソリンを消費したことは記憶しています。帰りに岡崎 SA で20リットルのガソリントank 2個を給油し、泉佐野に帰り着いたとき燃料は残り少なくなっていました。この車の最大の欠点はエンジンのマニホールドとミクニソレックスキャブレターを繋ぐ合成ゴムのインテークに欠陥があり、合成ゴムが燃料のガソリン

によって含侵され、金属部品と合成ゴムを接着している接着剤が強度を失い、エンジンの振動によってインテークに亀裂が入りそこから不要な空気が吸い込まれてエンジンに不調を来すことでした。ディーラーの大阪日産に車を修理に持ち込んでもインテーク部品をただ取り換えるだけで同じ故障を繰り返すだけでした。業を煮やした私は東京都品川区南大井にある日産大森ファクトリー(現 NISMO) にまで持ち込みレー

いたトヨタ S800 と異なり当時の日本車の加速記録(0—400m 走り切る秒数)で1—2を争う車でした。競合車には TOYOTA2000GT が発売されたばかりで、映画 007 ジェームズボンドシリーズのボンドカーとして撮影に使用されて世界的に有名な車でした。この車は直列6気筒2000cc、DOHC キャブレターはイタリア製 WEBER 社製ツインストロークを3基搭載しており、



セリカ 1600GT

automesseweb.jp より引用

ス用のインテーク部品に交換してもらいました。流石に市販車をレース用に改造を専門としている工場だけあって、原因は良く分かっており以後その交換部品が同じ故障



パブリカ 1000

www.pinterest.jp/ より引用

は日本製の三国工業のソレックスツインストロークを2基搭載したものでした。三国工業のソレックスキャブレターは日産フェアレディ 2000 のキャブレターと同じでしたがインテーク部品がはがれる事故は全く有りませんでした。大学院の修士課程の2年間でしたが、この車は故障することは全くなく、高速道路が現在のように整備されていない時代に北は軽井沢から南は宮崎県都井岬まで車の旅を楽しみました。

大学院修士課程を修了し、東洋ペアリリング㈱に入って社会人となりました。父正蔵は何を思ったのか社会人になったのなら自分の給料で生活しろと言われ、維持費の掛かるセリカ 1600GT を売

却し、トヨタで一番安い車パブリカ 1000 スタンダードを 35 万円で買いました。勤務地が三重県桑名市だったため、未だ片側 1 車線しかなかった名阪国道を 40ps 程しかない、ブアなエンジンに鞭打って反対車線に出て大型トラックを追い越しながら、良く大阪に帰ったものでした。1000cc しかない非力なエンジンを回しすぎたのか 3 万キロメートルほど走行しただけでエンジンに異音が発生するようになり、修理工場に持ち込みますとエンジンを過回転でぶん回したためシリンダーが擦り減っているとのことでした。修理するとエンジンを車から降ろしてエンジンをオーバーホールする必要があり、買った値段ぐらいかかるとのことので買い替えることとしました。



スターレット ST-G1200

minkara.carview.co.jp/ より引用

ちょうどその時、お見合いで歌子との結婚が決まりパブリカでは格好が悪いので其の頃発売したてのスターレット ST-G, 1200 cc、SOHC の 2 バレルツインキャブの出力 77ps を購入して、長女理恵が生まれ家内と 3 人で近場を良くドライブしたものでした。この車は狭い道路でも乗りやすく、3 人家族ではゆったり乗れました。次男章博が生まれたころ日本の車の排気ガスが環境



カリーナ MyLoad

motorz.jp より引用

を汚染しているということで、通産省は大幅な排ガス規制を行いました。一般はエンジンから出る排気ガスを白金触媒使用のサーマルリアクターで、Sox・Nox を浄化する方法が主流でした。その為にエンジンの出力低下は免れず、4 人家族が乗るために私が買った車はトヨタカリーナ 2000SE と名前は立派でしたが出力は 100ps しかなく、その上エンジンの吹き上がりが悪く、パワーステアリングでない非常に重いハンドルと相まって、乗っていて全く面白くない車でした。次男久史が生まれお金に余裕の無い私たち家族は嫌々ながら 6 年間もこの車に乗り続けました。この 6 年間に各メーカーの排気ガス対策も進捗し、エンジンの出力低下も最小限に抑えられるようになっていました。ちょうどその時カリーナシリーズも改良され、横置き FF・1800cc 出力は燃料噴射装置付きで 115ps (以降はネット値) でした。パワーステアリング、電動ウインドー、3 速オートマチックが 3 点セットで付いた廉価版のカリーナ MyLaod が発売されました、トヨタカリーナ 2000SE の他社の下取り価格が 10 万円以下だったのに、同じトヨタ車の買い替えなので 20 万円で下取りしてくれたので即買いました。前輪駆動とオートマチックトランスミッションの組み合わせは初めてだったのですが、運転は楽だと妻は喜んでくれました。この車は長く乗り、その間に私は 18 年間勤めた NTN (株) を退社し、来友会に転職しました。この時、18 年前の父正蔵の自縛 (何を思ったのか社会人になったのなら自分の給料で生活しろと言われた事) を解き、これからは乗りたい車に乗ろうと決めました。カリーナ MyLaod は妻用に残し、あれこれと物色しましたが、ある方に国産車と違って外国車はモデルチェン



BMW320i E36

benzin.fr/ より引用

に各メーカーの排気ガス対策も進捗し、エンジンの出力低下も最小限に抑えられるようになっていました。ちょうどその時カリーナシリーズも改良され、横置き FF・1800cc 出力は燃料噴射装置付きで 115ps (以降はネット値) でした。パワーステアリング、電動ウインドー、3 速オートマチックが 3 点セットで付いた廉価版のカリーナ MyLaod が発売されました、トヨタカリーナ 2000SE の他社の下取り価格が 10 万円以下だったのに、同じトヨタ車の買い替えなので 20 万円で下取りしてくれたので即買いました。前輪駆動とオートマチックトランスミッションの組み合わせは初めてだったのですが、運転は楽だと妻は喜んでくれました。この車は長く乗り、その間に私は 18 年間勤めた NTN (株) を退社し、来友会に転職しました。この時、18 年前の父正蔵の自縛 (何を思ったのか社会人になったのなら自分の給料で生活しろと言われた事) を解き、これからは乗りたい車に乗ろうと決めました。カリーナ MyLaod は妻用に残し、あれこれと物色しましたが、ある方に国産車と違って外国車はモデルチェン



BMW-328i E46

wikimedia.org より引用

れるにふさわしく今まで4気筒以外乗ったことの無い私にとってその滑らかさに驚かされました。その後私が23年間に亘って3台のBMW車を使い続ける嚆矢となりました。私が乗った320は3代目のE36シリーズの2000cc 4ドアセダン、4代目のE46シリーズの2800cc 4ドアセダン、5代目のG90シリーズの2500cc 4ドアセダンと乗



BMW-323i E-90

targetcars.eu/ より引用

り継ぎました。以降BMW320シリーズは6代目F30、7代目G20へと続いていきますが、以降私は国産車のスバルWRXS4に乗り換えたので現在のBMW320シリーズについては良く存じ上げません。3種類のBMWの長期間乗った感想ではE36はスポーツセダンとして少し馬力不足は否めませんでした。小回りが利きFFの軽自動車より回転半径が小さく狭い日本の道を走るのにちょうどよい車でした。大阪―東京間を100～120km/hrで巡航しますと14～15km/lの好燃費でした。次に乗ったE46は3種類の中ではすべてに均整の取れた素晴らしい車でした。DOHC燃料噴射2800cc 6気筒エンジンは205psで車体重量に対して十分な出力でE36が4人乗車で中央道の恵那山トンネルの手前の上り坂で、アクセルをほぼ全開して上ったのに対してE46は軽々と登り切りました。多分E36よりE46はトルクに余裕があり、ツーリングに出かけても余裕の走りを見せたのでしょう。私はこの車が大好きでしたが9年も乗ると次の車に乗って見たくなるものです。次にG90シリーズのDOHC燃料噴射2500cc 6気筒エンジン出力177psこのスペックだけを見ていると、先代のE46と変わらないように見えますが、ボディ幅が180cmもあり車体重量も重くまたこのエンジンには小気味良さは無く、山間部のワインディングロードではローリングが大きく、これがE46の後継者とは到底思えませんでした。G90に7年間乗り、BMW 3シリーズが大きくなりすぎ

ジが少ないので長く乗るのには良いよと言われました。そこで昔からの私の希望、小さくなくて(5ナンバー)・程ほどの馬力・後輪駆動の車を探すとBMW320iが見つかりました。直列6気筒DOHC150psは私にとって理想的な車でした。小さくて小回りが利き、6気筒エンジンはシルキーシックスと呼ば

り継ぎました。以降BMW320シリーズは6代目F30、7代目G20へと続いていきますが、以降私は国産車のスバルWRXS4に乗り換えたので現在のBMW320シリーズについては良く存じ上げません。3種類のBMWの長期間乗った感想ではE36はスポーツセダンとして少し馬力不足は否めませんでした。小回りが利きFFの軽自動車より回転半径が小さく狭い日本の道を走るのにちょうどよい車でした。大阪―東京間を

たので、国産車を検討しました。69歳にもなっていたので、安全性の高い車を探し、スバルの「アイサイト」付いた車 WRXS4 を選びました。この車は初めて買ったトヨタ S800 と同じ水平対向エンジンで2気筒と4気筒、空冷と水冷、800ccと2000cc、31psと300psの大きな違いはありますが、18歳のワクワクした気持ちを引き起こしてくれています。コロナ禍にあって通勤は車でしたので7年間で10万



スバル WRX-S4

performancedrive.com より引用

Kmも走ってしまいました。故障らしい故障したことがなく、「アイサイト」が見守りをしてくれると思うと、後期高齢者となった今でももう少し車の運転を楽しみたいと思っています。

自動車運転免許証をもらって58年、自動車は確かに人生を楽しませ作れた最大のアイテムと感じる今日この頃です。

(注) エンジン出力のグロス値はエンジン単体の出力でオルタネーターや冷却水の循環ポンプ等の補器類を一切つけないで測った値。

エンジン出力のネット値はエンジンを駆動するのに必要なすべての補器類をすべて搭載して測った値。

クラブ紹介

カラオケクラブ



前列左から、木下俊子さん、佐古民子さん。岡田和人さん
後列左から、石橋久慈さん、香味武一さん、上村登喜子さん、弓場郁子さん
越知住子さん、奥田孝代さん、佐野紀代子さん

毎月第二第四日曜日のお昼から開催されているカラオケクラブ。皆様和気あいあいと毎回カラオケを楽しまれています。盛り上がりすぎて時間をオーバーすることもしばしば（笑）

年二回ある歌合戦では入賞者のほとんどがこのメンバーです。

シルバーストレッチクラブ



前列左から、日根野谷マツエさん、木村せつ子さん。看護師の地主さん
廣田綾子さん、井本絹江さん
後列左から、小倉宏之さん、佐野紀代子さん、佐古民子さん

曜日は不定期ですが月4日～5日で入居者様のADL（日常生活動作）の向上や口腔体操、頭の体操など3つのカリキュラムで行っています。ご参加されるかたは皆様熱心に取り組んでおられますよ。

サブカラオケクラブ



前列左から、香味武一さん、石橋久慈さん、佐古民子さん、弓場郁子さん
後列左から、岡田和人さん、奥田孝代さん、木下俊子さん

毎月第二第四木曜日のお昼から開催されているサブカラオケクラブ。入居者の香味武一さんが主体となり、施設主導ではなく入居者様が主となり運営しているクラブです。気心しれたメンバーで皆様、和気あいあいとカラオケを楽しんでおられます。

脳トレクラブ



前列左から、佐古民子さん、宮本和子さん、治田明子さん、
担当職員の中道一治さん
後列左から、木下俊子さん、香味武一さん、松本博行さん、
白川照子さん、山口ナルミさん

毎週第一第三、日曜日の午後から4Fサニールームで開催しています。パズルや間違い探し等皆さん、楽しそうに取り組んでおられます。頭のトレーニングは認知症予防になるからいいですね。

ぬりえクラブ



前列左から、佐野紀代子さん、上村登喜子さん、香味武一さん、佐古民子さん、
宮本和子さん、越知住子さん、小林忠義さん、山口ナルミさん、
担当職員の向元子さん

隔週の土曜日のお昼から4Fサニールームにてみんなで楽しくぬりえをしています。結構難しい図柄で皆様上手に塗られています。ほぼ全員の方が自前の色鉛筆を持参されているのが驚きました。



ぬりえクラブ作品

継続できる環境、

軽費老人ホーム 来友館 (入居施設)

入居条件

- ①60歳以上であること
- ②共同生活に支障がないこと
- ③利用料、その他必要な費用を負担できること
- ④近隣に在住する身元引受人が1名以上いること
- ⑤自立～要介護2くらいまで(車椅子不可)



費用 66,280円～

ケアプランセンター

らいゆう



ケアマネージャーがご利用者様と相談し、介護保険サービスを受けるためのケアプランを作成します。

費用 無料

小規模多 くす

(通所・ショートステイ)

介護が必要となった場合の生活環境をできるだけ維持し、「訪問」「宿泊」の3つのサービスを24時間切れ間なくサービス提供します。

費用 介護度により

提携病院：たか

※施設は同一敷地内

安心できる生活。

サービス付き高齢者向け住宅

陽だまり

(入居施設)

ヘルパーが24時間駐在し、ご入居者様が安心して生活を送れるようサポート致します。部屋は18㎡以上、ナースコール、トイレ、洗面、収納があります。

費用 月額83,890円～



機能ホーム

のき

(サポートステイ)

に、今までの人間関係や
できるよう「通い」を中心に
サービスを柔軟に組み合わせて
を提供します。

応じて月額制



みやまクリニック

地内にございます

ヘルパーステーション

らいゆう

ヘルパーが利用者様の居宅に
訪問し、生活援助・身体援助な
ど様々な日常生活のサポートを
しています。

費用
サービスごとの単価



軽費老人ホーム 来友館

月額利用料 **66,280 円**～
(約 9 割の方)



1. 60歳以上であること
2. 共同生活に支障がないこと
3. 利用料等、必要な費用を負担できること
4. 近隣に身元引受人がいること（1名以上）

- ・ 3食付き個室
- ・ 夜は安心の居直職員配置
- ・ 外出・外泊・病院も自由
- ・ 美味しい施設内調理の食事
- ・ 入院時はお食事代返金制度あり
- ・ 相談できる常勤の看護師配置
- ・ ナースコール
- ・ 提携病院による送迎・往診有
- ・ 駅まで徒歩約8分の好立地
- ・ スーパーも徒歩圏内
- ・ お食事会などの行事も沢山
- ・ クラブ活動もあります
- ・ 3社の新聞も毎日読めます
- ・ お部屋で飲酒も可能（喫煙×）
- ・ ポータブルトイレお部屋に可
- ・ 要介護（1～2）の方も安心
- ・ 同一敷地に併設施設も充実
- ・ トイレ・洗面・お風呂は共同

生活費	55,280 円	3食（施設内調理）・個室（5畳程度、押入有）
事務費	10,000 円	年収 150 万円以下の方（社会保険料・医療費を除く）
冬季加算	2,100 円	夏季加算（4月～10月 空調管理費月 1,000 円）
電気代	実 費	15kw までは施設負担
水道・ガス	0 円	
敷金・礼金	0 円	保証金も必要ありません
その他	実 費	
合 計	67,380 円	夏季は 66,280 円

*要介護・認知症の方もご入居可能です、是非ご相談してください。



泉佐野市から表彰



お正月のおせち料理



手作りお食事



和室のお部屋



押入広々



サンルーム



食 堂



屋上からの眺め



同一敷地の併設施設も充実

提携病院

たかやまクリニック（往診・送迎もあり）
〒598-0006 泉佐野市市場町西3-4-10
院長：高山 東春 先生
診療科目：脳神経外科・内科・腎臓内科

参考行事

1月	新年祝賀会	9月	敬老家族会
3月	お食事会	10月	小旅行
4月	お花見	11月	秋の行楽
7月	お食事会	12月	クリスマス会



社会福祉法人 来友会
大阪府泉佐野市春日町2番7号
☎072-462-1848

来友会

検索

<http://rai-yu-kai.com>



軽費老人ホーム来友館
小規模多機能ホームくすのき
ケアプランセンターらいゆう
ヘルパーステーションらいゆう
サービス付き高齢者向け住宅端だまり
地域交流サロン端だまり

小規模多機能ホームくすのき

在宅での生活を支援するために、

通所と宿泊、訪問を組み合わせ、

その人らしい生活を応援します。

ご利用条件

- ①原則泉佐野市民であること。
- ②要支援・要介護状態であること。
(介護保険証に記載されています。)

ご利用料

- ①介護保険料 介護度に応じて(月額制)
- ②お食事 朝200円 昼500円 夜600円
- ③宿泊料 無料(連泊も可能です。)
- ④その他 おやつ代・おむつ代など



木材を沢山使用した温かみのある施設です。

参考ご利用料(月額制)

要支援1	3,531円	◎急な宿泊も対応。 ○連泊も可能。 ○訪問も致します。 ○送迎もあります。 ○利用回数に関係なく 月額制です。
2	7,136円	
要介護1	10,706円	
2	15,735円	
3	22,889円	
4	25,261円	
5	27,854円	

*上記は1割負担の例です。(食事代は別途)

*その他各種加算があります。

ご利用例

月 通 所
火 休 み
水 宿 泊
木 通 所
金 休 み
土 訪 問
日 通 所



社会福祉法人 来友会

泉佐野市春日町2番28号

☎ 072・461・3366

来友会 検索

<http://raiyu-kai.com>



軽費老人ホーム来友館

小規模多機能ホームくすのき

ケアプランセンターらいゆう

ヘルプステーションらいゆう

サービス付き高齢者向け住宅隔だまり

地域交流サロン隔だまり

くすのき 利用者様



サービス付き高齢者向け住宅 陽だまり

月額83,890円～

家賃	42,000円	要介護以上の 方対象
食費（30日計算）	30,900円	
共益費（電気・ガス・水道）	8,990円	
生活支援相談費	2,000円	
合計（税込）	83,890円	

- ・敷金は家賃の2カ月分いただきます。
- ・介護サービス費用は別途必要となります。
- ・医療費及び下着代などは別途必要となります。
- ・31日の月については食費が31,930円となります。
- ・きざみ食・とろみ食についてはご相談ください。
- ・胃ろう・経管栄養は対応しておりません。

引越しサポート

引越しされる際に事前にご連絡
いただければ、職員がお手伝いを
させていただきます。
どうぞお気軽にご相談下さい。

ケアマネ相談OK

現在担当されておられるケアマネ
さんを引き続きご利用いただく
ことも相談可能です。
当法人のケアマネージャーが担当
させていただくことも可能です。
ご相談承ります。

提携医院

たかやまクリニック
泉佐野市市道西3-4-10
院長 高山東春 先生
診療科目 脳神経外科
内科・腎臓内科
往診・送迎あります。



南海本線泉佐野駅より徒歩7分



食堂



廊下



居室



社会福祉法人 来友会

泉佐野市春日町2番30号

☎ 072-469-5570

来友会 検索

<http://rai-yu-kai.com>



経費老人ホーム来友館

小規模多機能ホームくすのき

ケアプランセンターらいゆう

ヘルパーステーションらいゆう

サービス付き高齢者向け住宅陽だまり

地域交流サロン陽だまり

陽だまり 利用者様



社会貢献宿泊所 くすのき

社会貢献宿泊所・第2種社会福祉事業で、生計困難者のために
無料又は低額な料金で宿泊させる施設です。

(介護施設ではありません)

1. ご利用可能な方(例)

- ①一時的な生活困窮により、自立支援を必要とする方
- ②生活困窮により、緊急に保護する必要がある方
- ③独居が困難で施設入る必要があるが、急な退院や生計難等により、
やむを得ず一時的に保護する必要がある方

2. 利用料金

居室使用料 1日 1,000円

食事代 朝 200円 昼 400円 夜 400円

*法人の許可により無料又は、居室料のみの
設定とすることも可能



3. ご利用期間(半年を目途に)

- ①自立可能(生活困窮状況を脱したと考えられる)と判断したとき。
- ②他施設に移住できるとき
- ③その他利用の必要がないと判断したとき

居室は5部屋です



社会福祉法人 来友会
泉佐野市春日町2番28号
☎ 072-461-3366

来友会

検索



経費老人ホーム来友館
小規模多機能ホームくすのき
ケアプランセンターらいゆう
ヘルパーステーションらいゆう
サービス付き高齢者向け住宅隠だまり
社会貢献宿泊所くすのき

ケアプランセンターらいゆう

ご本人とケアプランセンター（ケアマネージャーのいる事業所）が、
パートナー契約をして、ケアマネージャーが作成するケアプランに従って
介護保険サービスを受けることができます。

ケアマネージャーはあなたの暮らしのパートナー

ご本人 ⇄ ケアプランセンター

（パートナー契約）

↓（相談）

ケアプランの作成

↓

【費用は全て無料】

介護保険サービスの利用

※ケアマネージャーの選択は大切！

どのサービスをどのように組み合わせて
利用するべきか、ケアマネージャーに
委ねられています。ご本人の意向に沿った
ケアプランは作成されていますか？

- ・ご家族の介護に疲れた。
- ・介護サービスを利用したいが、介護保険証がない。
- ・住宅改修をしたい（手すりや段差解消など）。
- ・福祉用具を利用したい（車椅子・ベッドなど）。
- ・ヘルパーさんを派遣して欲しい。
- ・現在のケアマネージャーに不満がある。
- ・他に適切なサービスがないか知りたい。



らいゆうは岡だまり内にあります

ヘルパーステーションらいゆう

訪問介護サービス

ご自宅にヘルパーを派遣し、身の回りのお世話や家事のお手伝いなどの
介護サービスを提供致します（介護保険利用）。

訪問介護サービスには、身体介護と生活介護サービスがあります。

費用

サービスの利用料金は介護サービスの内容・時間によって異なります。

また、介護保険の負担割合（1割ないし2割）によって異なります。

※ 要支援1・2の方は「身体介護」「生活介護」の区別はありません。

身体介護

- ・食事の介助
- ・服薬の介助
- ・衣類の着脱
- ・排泄の介助
- ・入浴の介助
- ・起床
- ・就寝の介助

生活介護

- ・衣服の整理
- ・部屋の掃除
- ・食事の準備
- ・調理
- ・洗濯
- ・買い物



社会福祉法人 来友会

（ケアプラン）

☎ 072 - 458 - 2205

（ヘルパー）

☎ 072 - 469 - 7610

来友会

検索

<http://rai-yu-kai.com>



軽費老人ホーム来友館

小規模多機能ホームくすのき

ケアプランセンターらいゆう

ヘルパーステーションらいゆう

サービス付き高齢者向け住宅岡だまり

社会貢献宿泊所くすのき

大阪しあわせネットワークについて

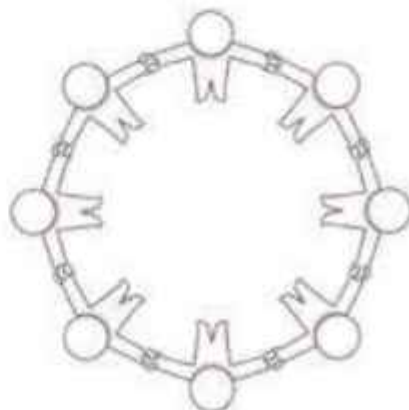
「大阪しあわせネットワーク」とは、“オール大阪の社会福祉法人”が連携・協働して取り組む「地域貢献事業」のことです。

昨今の社会経済情勢の変化等により、孤立や孤独死、ひきこもり、虐待・家庭内暴力、自殺、生活困窮など厳しい生活・福祉問題が広がっています。また、こうした課題に対して、既存の制度では対応できない“制度の狭間”の生活困窮も生じています。

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会とその会員の社会福祉法人（福祉施設）は、社会福祉事業や福祉サービスの充実・向上に努めるだけでなく、“社会福祉法人の使命”として、こうした地域の課題やニーズに向き合い、それぞれの特徴や強みを活かした様々な地域貢献事業を「大阪しあわせネットワーク」として“オール大阪”で展開し、ひとりひとりのしあわせを支えています。

「大阪しあわせネットワーク」では、大阪府内すべての社会福祉法人・社会福祉施設が、それぞれの施設種別の特性や強みを活かし、①総合生活相談と緊急・窮迫した生活困窮状況に対して現物給付による迅速な支援を行う「生活困窮者レスキュー事業」や、②社会福祉法人が有する機能（福祉専門職員や福祉施設の活用など）を活かし、社会参加・生きがい支援、居場所づくり、中間的就労、障害者等の就労支援、子育て支援、困窮世帯の児童に対する学習支援など、様々な地域貢献事業を展開し、その財源として、社会福祉法人・社会福祉施設が社会貢献基金（特別部会費）を拠出し、事業を推進しています。

（大阪府社会福祉協議会ホームページより抜粋）



大阪しあわせネットワークの足がかりとなった、生活困窮者レスキュー事業は2004年大阪府社会協議会 老人施設部会の当時の会長三上氏の発案により大阪府内の社会福祉法人の賛同を得て始まりました。今では各都道府県に広がりつつあります。

「今日・明日、食べるものがない」「電気・ガスが止まってしまった」「家賃が払えない」など、失業や介護、障がい、虐待・DVなど様々な要因から生活困窮に至った人を支援する相談事業であり、社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者への心理的不安の軽減や公的な制度やサービス等への橋渡しを行うことを目的とし、生計困難者に対する相談・支援事業を行う事業です。支援事業の内容としては、生計困難者が公的なサービスを受けられるようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事の提供等の経済的援助（現物給付10万円まで）を行います。財源は社福法人や各施設が基金を拠出し必要な財源をまかなっています。

具体的な例としましては

- ①病気や失業により所持金がほとんどなく、必要な栄養を摂取できないおそれのある方
- ②DVから避難したものの、所持金がほとんどなく、必要な日用品を購入することができない方
- ③料金滞納により電気・水道・ガスなどのライフラインを止められるおそれのある方
- ④家賃滞納により、住居の明け渡しを迫られている方
- ⑤医療や介護を受ける必要があるにもかかわらず、経済的な理由から利用を控えている方
- ⑥その他、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方

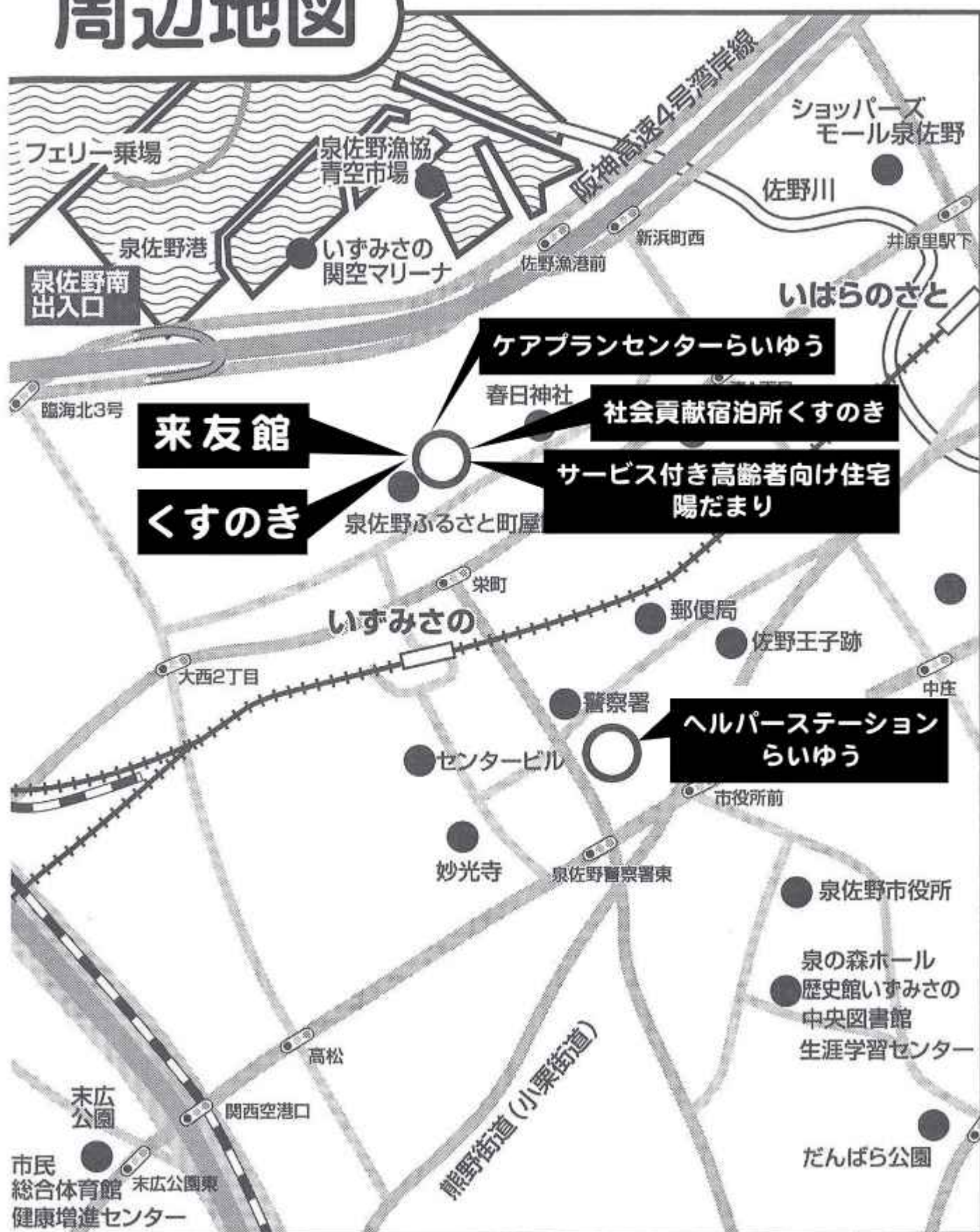
当法人も2004年当初から賛同し地域貢献事業推進のため拠出し、現在3名の職員が研修を受けコミュニティーソーシャルワーカー（CSW）として活動しております。

文責 甲斐 佐代子

来友館



周辺地図



編集後記

来友会創立 50 年の歩みをお読みいただきありがとうございます。

50 周年記念誌ということもあり、編集員のほとんどが未経験者で、つたない部分もありますが、力を合わせて作り上げました。

その中で、ご利用者様からお話をたくさん聞かせていただき、過去 10 年分の写真や月刊誌・季刊誌を通していろいろ思い返し学ぶことができました。

記念誌発行にご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

これからも地域に根差し、法人理念に基づき安心と信頼を得るよう、職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

今後ともご指導いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集員 木本 和紀
甲斐 佐代子
宮内 誠
伊瀬 廣子
幸田 芙海

来友会 50 年の歩み 地域社会に輪を拡げる

令和 5 年 11 月発行

- ◇ 編 集 開館 50 周年記念誌編集委員会
◇ 発 行 者 社会福祉法人 来 友 会
理事長 西 座 新 二
◇ 発 行 所 〒 598-0058 大阪府泉佐野市春日町 2-7
TEL (072) 462-1848
FAX (072) 464-0646



来友会 ホームページ <http://www.raiyu-kai.com/>

社会福祉法人 来 友 会

軽費老人ホーム 来友館

〒598-0058 泉佐野市春日町2番7号
TEL (072) 462-1848

小規模多機能ホーム くすのき

〒598-0058 泉佐野市春日町2番28号
TEL (072) 461-3366

ケアプランセンター らいゆう

〒598-0058 泉佐野市春日町2番30号
TEL (072) 458-2205

サービス付き高齢者向け住宅 陽だまり

〒598-0058 泉佐野市春日町2番30号
TEL (072) 469-5570

ヘルパーステーション らいゆう

〒598-0007 泉佐野市上町1丁目3番4号201号
TEL (072) 469-7610

地域交流サロン 陽だまり

〒598-0058 泉佐野市春日町2番32号

社会貢献宿泊所 くすのき

〒598-0058 泉佐野市春日町2番28号
(072) 461-3366

発行人

泉佐野市春日町二番七号

社会福祉法人 来友会

理事長 西座 新一